

学習成果まとめ

学生数

様式12

(令和4(2022)年5月1日現在)

学科・専攻課程名	項目	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	入学定員に対する平均比率	備 考
保育科	志願者数	56	70	56	53	34	94%	
	合格者数	54	58	53	48	34		
	入学者数	50	56	50	46	32		
	入学定員	50	50	50	50	50		
	入学定員充足率	100%	112%	100%	92%	64%		
	在籍学生数	103	106	104	94	79		
	収容定員	115	100	100	100	100		
	収容定員充足率	90%	106%	104%	94%	79%		
〇〇学科(〇〇専攻)	志願者数							
	合格者数							
	入学者数							
	入学定員							
	入学定員充足率							
	在籍学生数							
	収容定員							
	収容定員充足率							
学科(専攻課程)合計	志願者数	56	70	56	53	34	94%	
	合格者数	54	58	53	48	34		
	入学者数	50	56	50	46	32		
	入学定員	50	50	50	50	50		
	入学定員充足率	100%	112%	100%	92%	64%		
	在籍学生数	103	106	104	94	79		
	収容定員	115	100	100	100	100		
	収容定員充足率	90%	106%	104%	94%	79%		
専攻科	入学定員							
	入学者数							
	収容定員							
	在籍学生数							

[注]

- 1 学生を募集している学科・専攻課程、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
ただし、学科・専攻課程等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学科・専攻課程等については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学科・専攻課程の改組等により、新旧の学科・専攻課程が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学科・専攻課程、専攻科等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、入学定員には編入学の定員を加えないでください。

学生データ

① 卒業者数(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科	72	44	49	48	51

② 退学者数(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科		3	3	4	3

③ 休学者数(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科		4	0	2	0

④ 就職者数(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科	65	40	38	40	47

⑤ 進学者数(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科	3	0	2	3	1

⑥ 科目等履修生(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科	3	0	1	2	1

⑦ 長期履修生(人)

学科・専攻課程	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度
保育科	0	0	0	0	0

[注]

- 1 学科・専攻課程ごとに、認証評価を受ける前年度の令和3(2021)年度を起点とした過去5年間のデータを示してください。
- 2 ⑥及び⑦は、当該年度に在学する学生数を記入してください。

2020年度入学生 単位取得状況

科目区分	履修年次	授業科目	履修人数	単位習得者数	単位習得率(%) 小数点以下切捨	最終評価(%)小数点以下切捨				
						A	B	C	D	計
教養科目	1	アカデミックスキルズ	44	43	97.72727273	28	45	25	2	100
	1	自然観察	45	44	97.77777778	57	24	17	2	100
	1	情報機器演習(情報リテラシー含む)	45	45	100	57	37	6	0	100
	1	日本国憲法	45	44	97.77777778	71	18	9	2	100
	2	キャリア教育	45	42	93.33333333	94	0	0	6	100
	2	英会話	45	41	91.11111111	92	0	0	8	100
	2	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	45	43	95.55555556	86	5	5	4	100
	2	体育実技	45	44	97.77777778	41	49	8	2	100
	2	体育理論	45	45	100	67	25	8	0	100
専門科目(基礎)	1	教育学概論	45	45	100	65	24	11	0	100
	1	子どもの保健	45	45	100	43	17	40	0	100
	1	社会的養護Ⅰ	45	45	100	32	22	46	0	100
	1	社会福祉	45	44	97.77777778	53	23	22	2	100
	1	発達心理学Ⅰ	4	4	100	100	0	0	0	100
	1	保育原理Ⅰ	45	44	97.77777778	55	27	16	2	100
	1	保育者論	45	44	97.77777778	87	7	4	2	100
	2	教育の方法と技術	45	45	100	25	36	39	0	100
	2	教育相談	45	45	100	48	40	12	0	100
	2	子どもの食と栄養	45	42	93.33333333	80	9	5	6	100
	2	子どもの理解と援助	45	43	95.55555556	53	27	16	4	100
	2	子ども家庭支援の心理学	45	43	95.55555556	46	39	11	4	100
	2	子ども家庭支援論	14	14	100	86	0	14	0	100
	2	子ども家庭福祉	43	40	93.02325581	94	0	0	6	100
	2	発達心理学Ⅱ	2	2	100	100	0	0	0	100
	1	教育課程・保育の計画と評価	50	49	98	22	16	58	4	100
	1	子どもの健康と安全	50	49	98	74	20	2	4	100
専門科目(内容・方法)	1	特別支援教育論	51	45	88.23529412	47	22	18	13	100
	1	乳児保育Ⅰ	51	45	88.23529412	33	49	4	14	100
	1	保育の表現技術(音楽)	51	45	88.23529412	57	15	14	14	100
	1	保育の表現技術(国語)	50	44	88	32	34	20	14	100
	1	保育の表現技術(造形)	50	48	96	62	28	4	6	100
	1	保育の表現技術(体育)	50	45	90	31	41	16	12	100
	1	保育技術研究Ⅰ	51	45	88.23529412	59	14	14	13	100
	1	保育内容演習(環境)	51	47	92.15686275	69	12	10	9	100
	1	保育内容演習(健康)	51	45	88.23529412	27	22	37	14	100
	1	保育内容演習(言葉)	51	46	90.19607843	78	10	0	12	100
	1	保育内容演習(人間関係)	50	49	98	51	43	4	2	100
	1	保育内容演習(表現)	51	44	86.2745098	84	0	0	16	100
	1	保育内容総論	51	44	86.2745098	84	0	0	16	100
	2	音楽表現	51	45	88.23529412	43	24	20	13	100
	2	子育て支援	50	49	98	60	26	10	4	100
	2	社会的養護Ⅱ	50	48	96	34	26	34	6	100
	2	乳児保育Ⅱ	50	49	98	58	24	14	4	100
	2	美術表現	51	45	88.23529412	63	18	6	13	100
	2	保育技術研究Ⅱ	51	46	90.19607843	25	55	8	12	100
	2	基礎技能(器楽)	51	50	98.03921569	84	4	8	4	100
専門科目(実習・他)	1	保育実習指導Ⅰ(保育所)	43	42	97.6744186	98	0	0	2	100
	1	保育実習Ⅰ(施設)	44	42	95.45454545	96	0	0	4	100
	1	保育実習Ⅰ(保育所)	44	42	95.45454545	96	0	0	4	100
	2	教育実習(幼稚園)	45	42	93.33333333	53	41	0	6	100
	2	教育実習指導(幼稚園)	45	42	93.33333333	53	41	0	6	100
	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	50	45	90	88	0	0	12	100
	2	保育実習Ⅱ	51	44	86.2745098	37	29	18	16	100
	2	保育実習Ⅲ	51	45	88.23529412	22	27	37	14	100
	2	保育実習指導Ⅰ(施設)	51	45	88.23529412	82	4	0	14	100
	2	保育実習指導Ⅱ	50	49	98	86	4	6	4	100
	2	保育実習指導Ⅲ	50	50	100	98	2	0	0	100
	平均		42.44444	41.44444444	97.81739879	62.889	17.222	17.444	2.4444	100

学習成果「専門性/知識」…専門的知識(専門科目/基礎/内容・方法(一部))					最終評価(%)小数点以下切捨				
					A	B	C	D	計
A 保育・教育についての理解	1 教育学概論	45	45	100	65	24	11	0	100
	1 保育者論	45	44	97.77777778	87	7	4	2	100
	1 保育原理Ⅰ	45	44	97.77777778	55	27	16	2	100
	2 子ども家庭福祉	43	40	93.02325581	94	0	0	6	100
	2 子ども家庭支援論	14	14	100	86	0	14	0	100
	1 社会福祉	45	44	97.77777778	53	23	22	2	100
	1 社会的養護Ⅰ	45	45	100	32	22	46	0	100
	2 社会的養護Ⅱ	50	48	96	34	26	34	6	100
	2 保育原理Ⅱ								
	2 子育て支援	50	49	98	60	26	10	4	100
平均		42.44444	41.44444444	97.81739879	62.889	17.222	17.444	2.4444	100

B 子ども、利用者についての理解	1	発達心理学Ⅰ	4	4	100	100	0	0	0	100
	2	子ども家庭支援の心理学	45	43	95.55555556	46	39	11	4	100
	2	特別支援教育論	51	45	88.23529412	47	22	18	13	100
	2	子どもの理解と援助	45	43	95.55555556	53	27	16	4	100
	2	教育相談	45	45	100	48	40	12	0	100
	1	子どもの保健	45	45	100	43	17	40	0	100
	2	子どもの食と栄養	45	42	93.33333333	80	9	5	6	100
	2	子ども家庭福祉	43	40	93.02325581	94	0	0	6	100
	2	教育の方法と技術	45	45	100	25	36	39	0	100
	2	教育相談	45	45	100	48	40	12	0	100
	2	保育原理Ⅱ								
	2	発達心理学Ⅱ	2	2	100	100	0	0	0	100
	平均		40.66667	39.11111111	96.68304876	59.778	21.222	15.778	3.2222	100

C 保育・教育の指導に関する基礎的な知識		子どもと健康								
		子どもと人間関係								
		子どもと環境								
		子どもと言葉								
		子どもと表現								
	1	保育内容演習(健康)	51	45	88.23529412	27	22	37	14	100
	1	保育内容演習(人間関係)	50	49	98	51	43	4	2	100
	1	保育内容演習(環境)	51	47	92.15686275	69	12	10	9	100
	1	保育内容演習(言葉)	51	46	90.19607843	78	10	0	12	100
	1	保育内容演習(健康)	51	45	88.23529412	27	22	37	14	100
	1	保育内容演習(表現Ⅰ)	51	44	86.2745098	84	0	0	16	100
		保育内容演習(表現Ⅱ)								
	1	保育内容総論	51	44	86.2745098	84	0	0	16	100
	1	教育課程・保育の計画と評価	50	49	98	22	16	58	4	100
		平均	50.75	46.125	90.92156863	55.25	15.625	18.25	10.875	100

2021年度入学生 単位取得状況

科目区分	履修年次	授業科目	履修人数	単位習得者数	単位習得率(%) 小数点以下切捨	最終評価(%)小数点以下切捨				
						A	B	C	D	計
教養科目	1	アカデミックスキルズ	47	46	97.87234043	98	0	0	2	100
	1	自然観察	47	46	97.87234043	98	0	0	2	100
	1	情報機器演習(情報リテラシー含む)	47	42	89.36170213	57	28	4	11	100
	1	基礎音楽	47	46	97.87234043	78	11	9	2	100
	1	日本語表現	47	46	97.87234043	44	39	15	2	100
専門科目(基礎)	1	教育学概論	47	41	87.23404255	72	9	6	13	100
	1	子どもの保健	47	45	95.74468085	85	2	9	4	100
	1	社会的養護Ⅰ	47	45	95.74468085	15	31	50	4	100
	1	社会福祉	47	41	87.23404255	52	9	26	13	100
	1	発達心理学Ⅰ	47	45	95.74468085	74	15	7	4	100
	1	保育原理Ⅰ	47	46	97.87234043	37	44	17	2	100
	1	保育者論	47	47	100	74	22	4	0	100
	1	子どもの理解と援助	47	42	89.36170213	50	28	11	11	100
	1	子ども家庭福祉	47	46	97.87234043	20	20	59	1	100
	1	教育課程・保育の計画と評価	47	41	87.23404255	31	30	26	13	100
専門科目(内容・方法)	1	乳児保育Ⅰ	47	40	85.10638298	78	7	0	15	100
	1	子どもと環境	47	46	97.87234043	52	24	22	2	100
	1	子どもと健康	47	46	97.87234043	37	28	33	2	100
	1	子どもと言葉	47	46	97.87234043	65	26	7	2	100
	1	子どもと人間関係	47	45	95.74468085	89	5	2	4	100
	1	子どもと表現	47	46	97.87234043	43	46	9	2	100
	1	保育技術研究Ⅰ	47	44	93.61702128	85	4			89
	1	保育内容演習(環境)	47	42	89.36170213	22	35	33	10	100
	1	保育内容演習(健康)	47	42	89.36170213	40	23	26	11	100
	1	保育内容演習(言葉)	47	42	89.36170213	36	30	23	11	100
	1	保育内容演習(人間関係)	47	42	89.36170213	62	15	13	10	100
	1	保育内容演習(表現Ⅰ)	47	42	89.36170213	43	38	8	11	100
	1	保育内容演習(表現Ⅱ)	47	42	89.36170213	72	17	0	11	100
	1	保育内容総論	47	46	97.87234043	83	13	2	2	100
	2	基礎技能(器楽)Ⅰ	47	42	89.36170213	39	43	7	11	100
	2	基礎技能(器楽)Ⅱ	47	41	87.23404255	43	35	9	13	100

学習成果「専門性/知識」…専門的知識(専門科目/基礎/内容・方法(一部))					最終評価(%)小数点以下切捨					
					A	B	C	D	計	
A 保育・教育についての理解	1	教育学概論	47	41	87.23404255	72	9	6	13	100
	1	保育者論	47	47	100	74	22	4	0	100
	1	保育原理Ⅰ	47	46	97.87234043	37	44	17	2	100
	1	子ども家庭福祉	47	46	97.87234043	20	20	59	1	100
	2	子ども家庭支援論								
	1	社会福祉	47	41	87.23404255	52	9	26	13	100
	1	社会的養護Ⅰ	47	45	95.74468085	15	31	50	4	100
	2	社会的養護Ⅱ								
	2	保育原理Ⅱ								
	2	子育て支援								
平均			47	44.33333333	94.32624113	45	22.5	27	5.5	100

B 子ども、利用者についての理解	1	発達心理学Ⅰ	47	45	95.74468085	74	15	7	4	100
	2	子ども家庭支援の心理学								
	2	特別支援教育論								
	1	子どもの理解と援助	47	42	89.36170213	50	28	11	11	100
	2	教育相談								
	1	子どもの保健	47	45	95.74468085	85	2	9	4	100
	2	子どもの食と栄養								
	2	子ども家庭福祉								
	2	教育の方法と技術								
	2	教育相談								
	2	保育原理Ⅱ								
	2	発達心理学Ⅱ								
	平均		47	43.5	92.55319149	67.5	15	10	7.5	100

C 保育・教育の指導に関する基礎的な知識	1	子どもと健康	47	46	97.87234043	37	28	33	2	100
	1	子どもと人間関係	47	45	95.74468085	89	5	2	4	100
	1	子どもと環境	47	46	97.87234043	52	24	22	2	100
	1	子どもと言葉	47	46	97.87234043	65	26	7	2	100
	1	子どもと表現	47	46	97.87234043	43	46	9	2	100
	1	保育内容演習(健康)	47	42	89.36170213	40	23	26	11	100
	1	保育内容演習(人間関係)	47	42	89.36170213	62	15	13	10	100
	1	保育内容演習(環境)	47	42	89.36170213	22	35	33	10	100
	1	保育内容演習(言葉)	47	42	89.36170213	36	30	23	11	100
	1	保育内容演習(表現Ⅰ)	47	42	89.36170213	43	38	8	11	100
	1	保育内容演習(表現Ⅱ)	47	42	89.36170213	72	17	0	11	100
	1	保育内容総論	47	46	97.87234043	83	13	2	2	100
	1	教育課程・保育の計画と評価	47	41	87.23404255	31	30	26	13	100
	平均		47	42.77777778	91.01654846	48	27.4	15.6	9	100

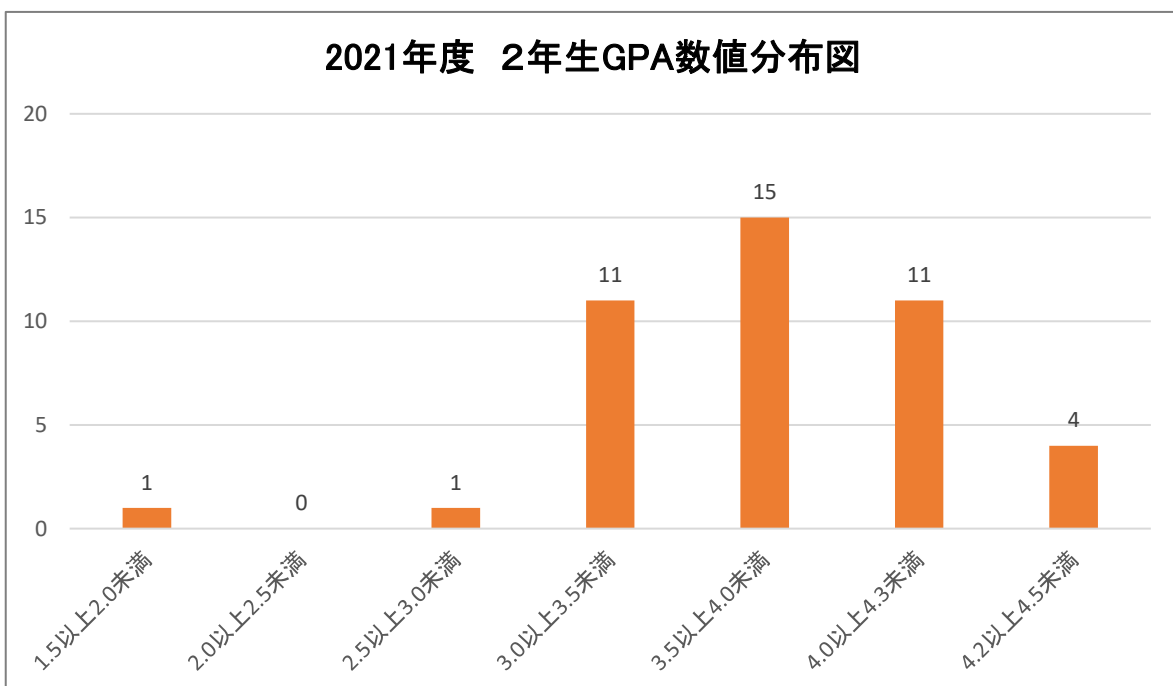
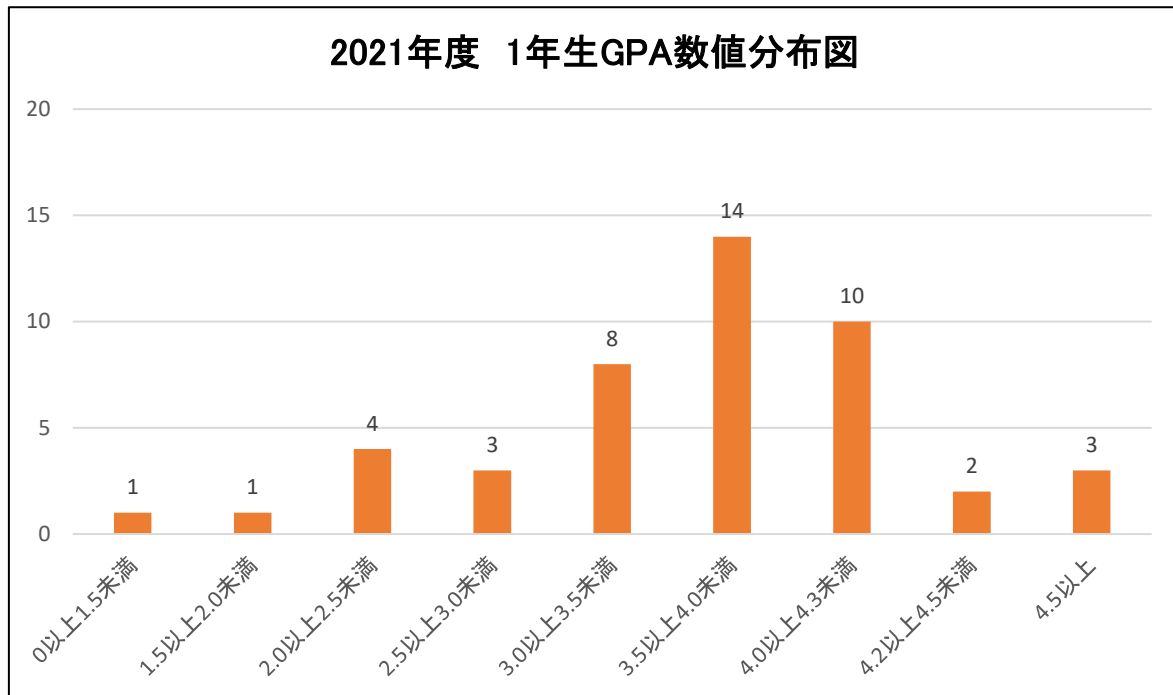
2021年度 GPA

2022年 帝京学園短期大学保育科

1. 概要

本学では、90点以上:5、80～89点:4、70～79点:3、60～69点:2、再試験合格:1として科目ごとにGPをつけている。本紙では、2021年度在学生のGPAについて、1年生及び2年生分を公表する。

2. 結果



令和3年度 資格取得状況一覧

2020年度入学生

区分	男子	女子	計	取得率
卒業者数	3名	41名	44名	
保育士資格	3名	40名	43名	97.7%
幼稚園教諭2種免許状	3名	38名	41名	93.1%
児童厚生二級指導員	1名	1名	2名	4.5%
ピアヘルパー	0名	0名	7名	15.9%
NEALリーダー (自然体験活動指導者)	3名	36名	39名	88.6%

考察：保育士資格、幼稚園教諭2種免許状についてはいずれも90%以上の学生が取得することができている。保育科として取得を期待する主たる資格・免許状の取得は実現できている。

一方、児童厚生二級指導員については2名にとどまった。当該学年の2年次履修登録時にほぼ全学生が保育実習Ⅱを選択したためである。児童厚生二級指導員の資格取得率を向上にむけて、履修登録時の案内を充実していきたい。

また、ピアヘルパーの取得率は例年と比して増加した。ピアヘルパーは認定試験の通過を要するため、認定試験受験率は例年と比して特に変化はなかったが、選択科目の発達心理学Ⅱにて受験対策を講じたことで合格率が向上した。

2021 年度卒業生 学修ポートフォリオまとめ

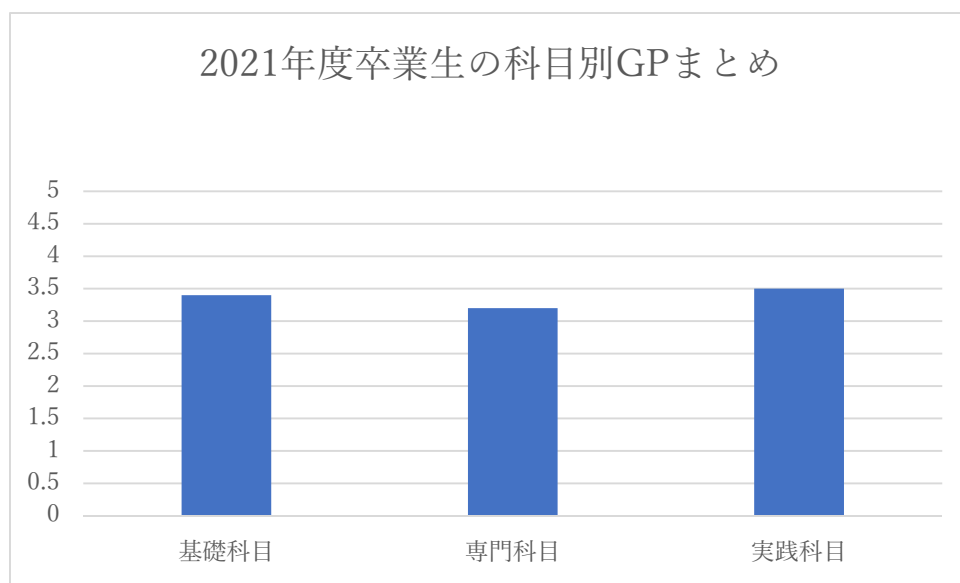
2022 年 帝京学園短期大学保育科

1. 概 要

本学では 2021 年度卒業生までは、学修成果の検証にあたって、①成績評価、②保育技術、③ジェネリック・スキル（仕事力・コミュニケーション）を 3 つの柱に据えており、それぞれを学生ごとの学修ポートフォリオとしてまとめることで、個別に評価することとしている。①については授業の成績である GP、②及び③については学生へのアンケート及び教員による評価をもって測定することとしている。

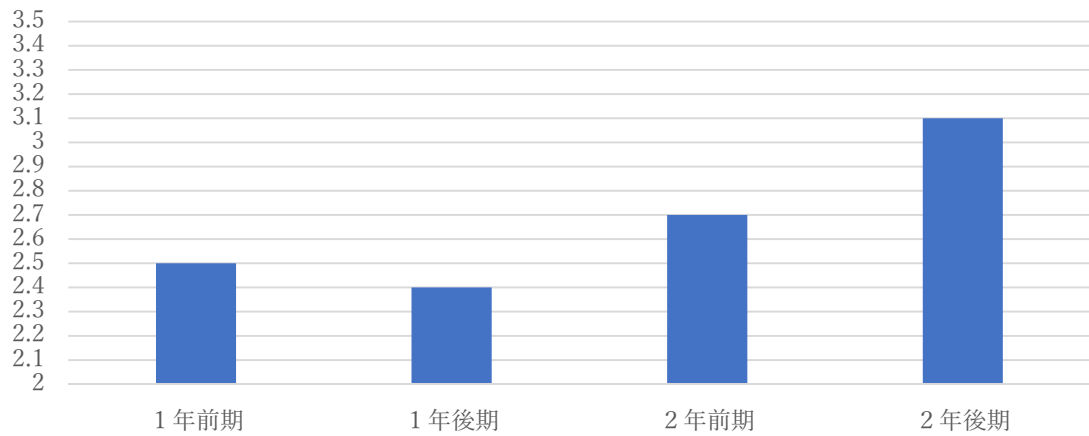
本紙では 2021 年度卒業生のポートフォリオについて、その内容をまとめた結果を公表する。尚、詳細な項目ごとの平均値については別紙を参照のこと。

2. 結果の概要

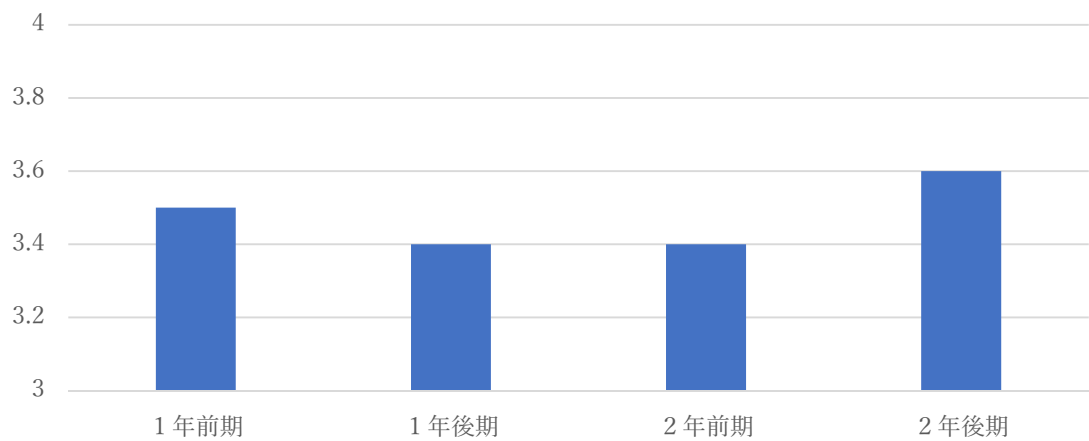


科目	GPA
基礎科目	3.4
専門科目	3.2
実践科目	3.5

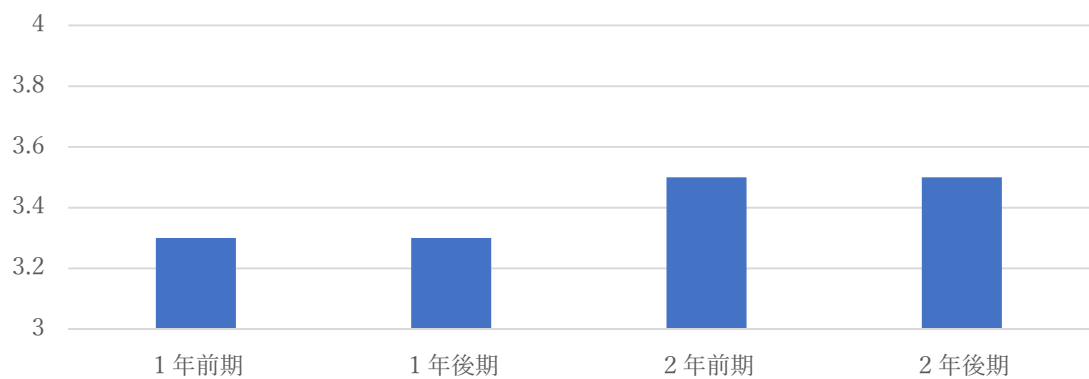
保育技術（総合自己評価）



ジェネリックスキル・仕事力（総合自己評価）



ジェネリックスキル・コミュニケーション（総合自己評価）



3. 結果に基づいた分析

(1) 保育技術について

保育技術では1年後期の評価が最も低く、2年後期の評価が最も高く示された。

1年生後期は、保育内容に関する教科目が前期と比して充実してくることに加え、保育実習や教育実習に向けた事前指導が始まる時期である。技術に着目した学習が充実する中で、保育技術の獲得について学生自身の課題意識が高まったことでために低く評価したのではないかと考える。一方、2年後期では、これまでに獲得した保育技術の種類や実践知が高まったことで、高く評価されたものとする。

(2) ジェネリック・スキル、仕事力について

ジェネリック・スキル、仕事力では1年後期の評価が最も低く、2年後期の評価が最も高く示された。

1年生後期には、保育実習や教育実習に向けた事前指導が始まり、2年前期を中心に継続する。ここでは実習場面で重要になるジェネリック・スキルについて学生自身の課題意識が高まったことでために低く評価したのではないかと考える。また、2年前期にかけて評価が同程度で推移したのも実習によって自身のジェネリック・スキルについての課題意識が高まったために評価が厳しくなったものとする。2年後期には2年間の実習を全て終了し、一定程度の自信に繋がったことで評価が高まったものとする。

(3) ジェネリック・スキル、コミュニケーションについて

ジェネリック・スキル、コミュニケーションでは、1年次に比して2年次の評価が高く示された。

2年次を中心に保育実習、教育実習があり、学生は学外の保育現場や福祉施設での実践を経験する。それまでの学内でのコミュニケーションスキルではなく、社会により近い環境下で求められるスキルを学ぶことで実践知を習得し、自信に繋がったことで評価が高まったものとする。

2021 年度入学生 学習成果（ジェネリック・スキル）のまとめ

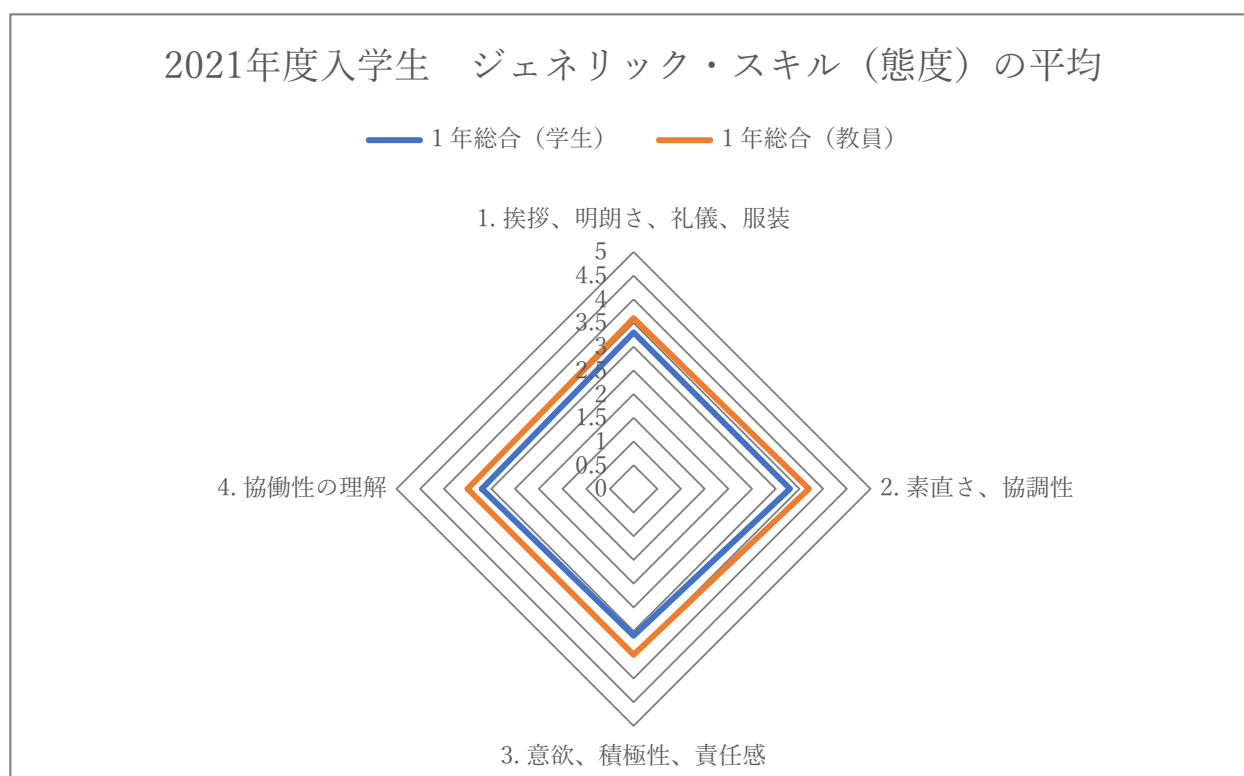
2022 年 帝京学園短期大学保育科

1. 概要

本学では学習成果の検証にあたって、ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）、知識、技能・実践力を3つの柱に据えており、それぞれについてルーブリック評価表を用いることで評価することとしている。ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）については学生へのアンケート及び教員による個別評価、知識については授業の成績である GP 等、技能・実践力については各種実習の評価等をもって測定することとしている。

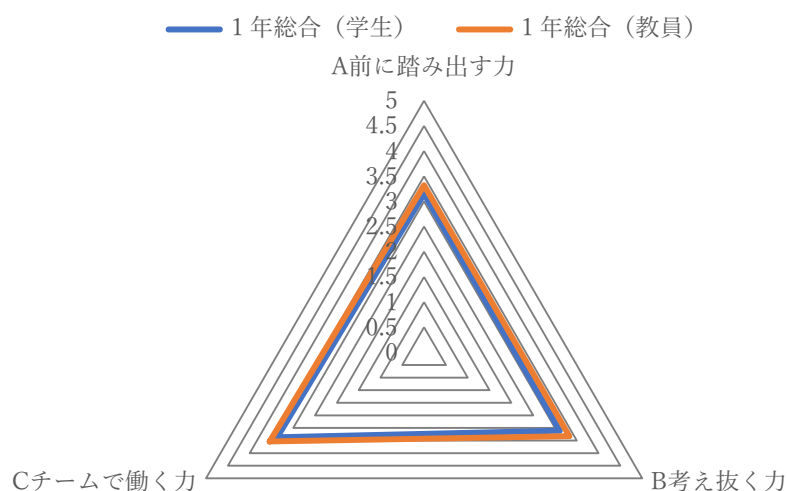
本紙ではジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）について 2021 年度入学生の結果を公表する。

2. アンケート結果



	1. 挨拶、明朗さ、 礼儀、服装	2. 素直さ、 協調性	3. 意欲、積極 性、責任感	4. 協働性 の理解
1 年総合（学生）	3.3	3.3	3.1	3.2
1 年総合（教員）	3.6	3.7	3.5	3.5

2021年度入学生 ジェネリックスキル (社会人基礎力) の平均



	A 前に踏み出す力	B 考え抜く力	C チームで働く力
1年総合（学生）	3.15	3.11	3.37
1年総合（教員）	3.32	3.33	3.54

3. 結果に基づいた分析

(1) ジェネリック・スキル、態度について

1年次を通じて、1～4のすべての観点において3.1～3.3に評価されている。1年生の段階では学生が自身のスキルをどのように評価して良いのか判断することが難しく、おおよそ中心的な点で評価をしたものとする。

例えば、評価値3では主として自身の態度を理解して行動する能力が問われていることに対して、評価値4では、概念として礼儀や協調性などの各態度を理解していることが求められている。このことから、1年次の段階では保育現場や福祉施設での実習経験がなく、客観的に自身の能力を捉えることが難しいのではないかと考える。

(2) ジェネリック・スキル、社会人基礎力について

1年次を通じて、1～4のすべての観点において3.1～3.3に評価されている。1年生の段階では学生が自身のスキルをどのように評価して良いのか判断することが難しく、おおよそ中心的な点で評価をしたものとする。

ここでは、各項目について「おおむね発揮されていて問題なかった」を評価値 3、「申し分なく発揮されていた」を評価値 4 としている。このことから、学生は自身のスキルに対して問題視しているわけではないが、十分に発揮されたと評価できるほど自信をもっているとは言えない状況が読み取れる。1 年次の段階では、保育現場や福祉施設での実習経験が少なく、客観的に自身の能力を捉えることが難しいのではないかと考える。

2021 年度入学生 学習成果（知識）のまとめ

2022 年 帝京学園短期大学保育科

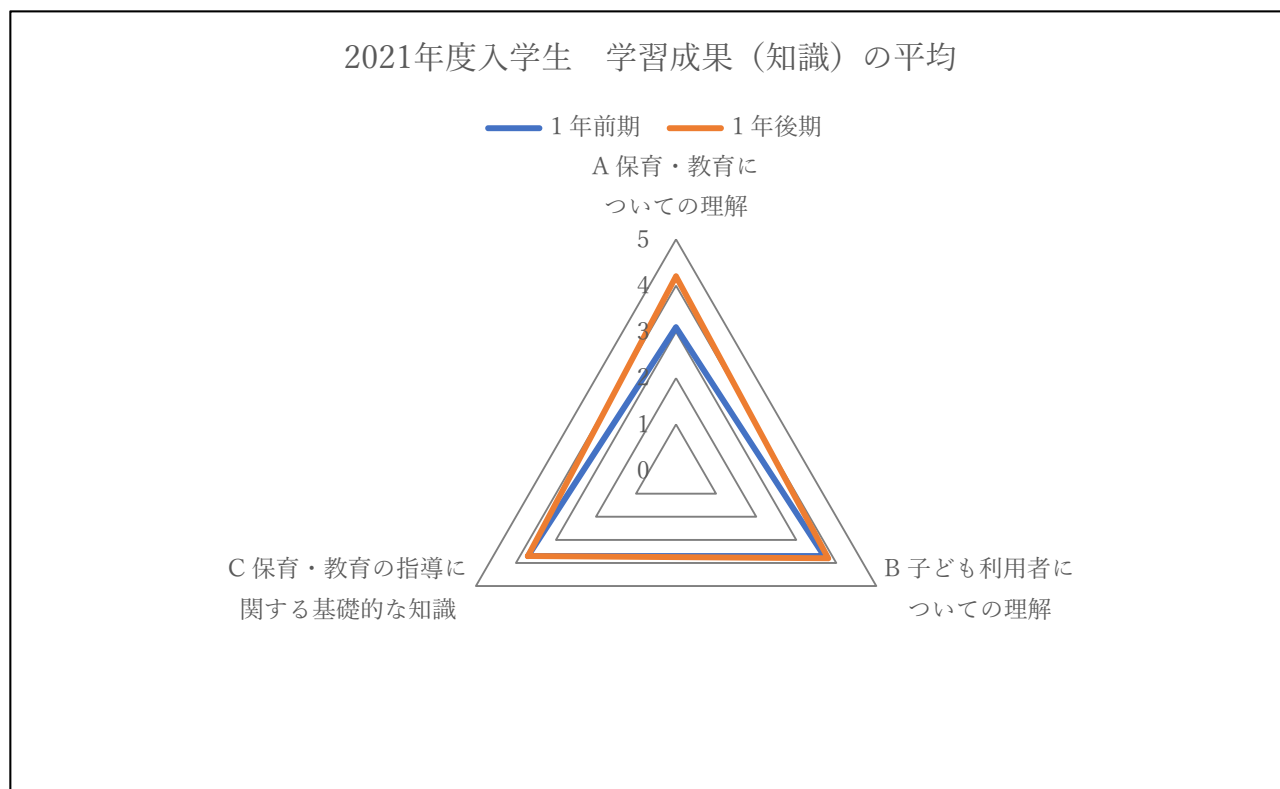
1. 概要

本学では学習成果の検証にあたって、ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）、知識、技能・実践力を3つの柱に据えており、それぞれについてルーブリック評価表を用いることで評価することとしている。ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）については学生へのアンケート及び教員による個別評価、知識については授業の成績である GP 等、技能・実践力については各種実習の評価等をもって測定することとしている。

本紙では知識について 2021 年度入学生の結果を公表する。

2. 結果

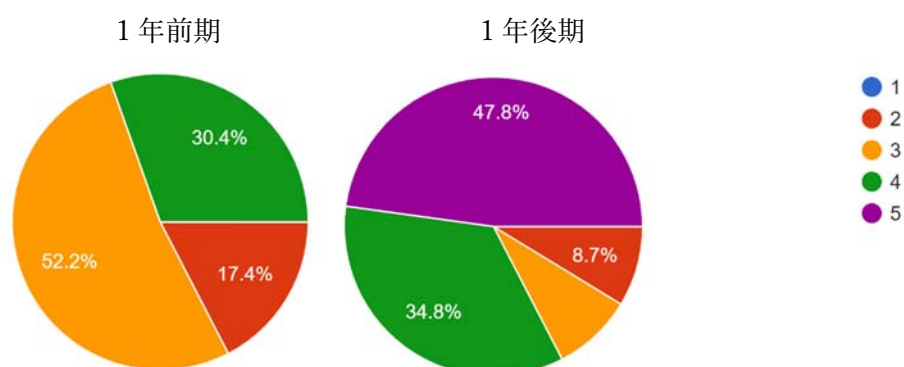
(1) 全体



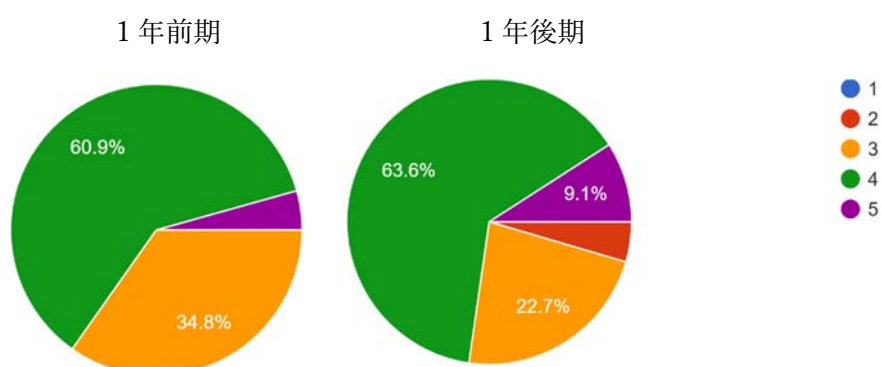
	A 保育・教育についての理解（※）	B 子ども利用者についての理解（※）	C 保育・教育の指導に関する基礎的な知識（※）
1 年前期	3.1	3.7	3.7
1 年後期	4.2	3.8	3.7

(2) 項目別

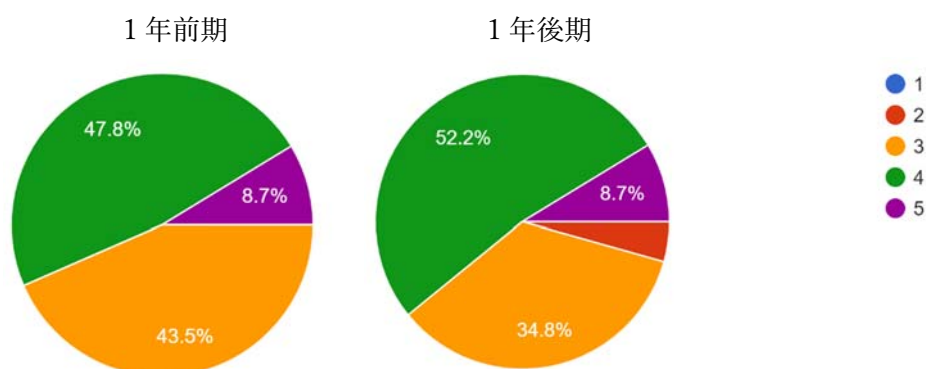
① A 保育・教育についての理解（※）



② B 子ども利用者についての理解（※）



③ C 保育・教育の指導に関する基礎的な知識（※）



※ A から C に該当する科目は以下のとおり。

A 保育・教育についての理解：教育学概論、保育者論、保育原理Ⅰ、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論、社会福祉、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、保育原理Ⅱ、子育て支援

B 子ども利用者についての理解：発達心理学Ⅰ、子ども家庭支援の心理学、特別支援教育論、子どもの理解と援助、教育相談、子どもの保健、子どもの食と栄養、子ども家庭福祉、教育の方法と技術、教育相談、保育原理Ⅱ、発達心理学Ⅱ

C 保育・教育の指導に関する基礎的な知識：子どもと健康、子どもと人間関係、子どもと環境、子どもと言葉、子どもと表現、保育内容演習（健康、人間関係、環境、言葉、表現Ⅰ、表現Ⅱ）、保育内容総論、教育課程・保育の計画と評価

2021 年度入学生 学習成果（技能・実践力）のまとめ

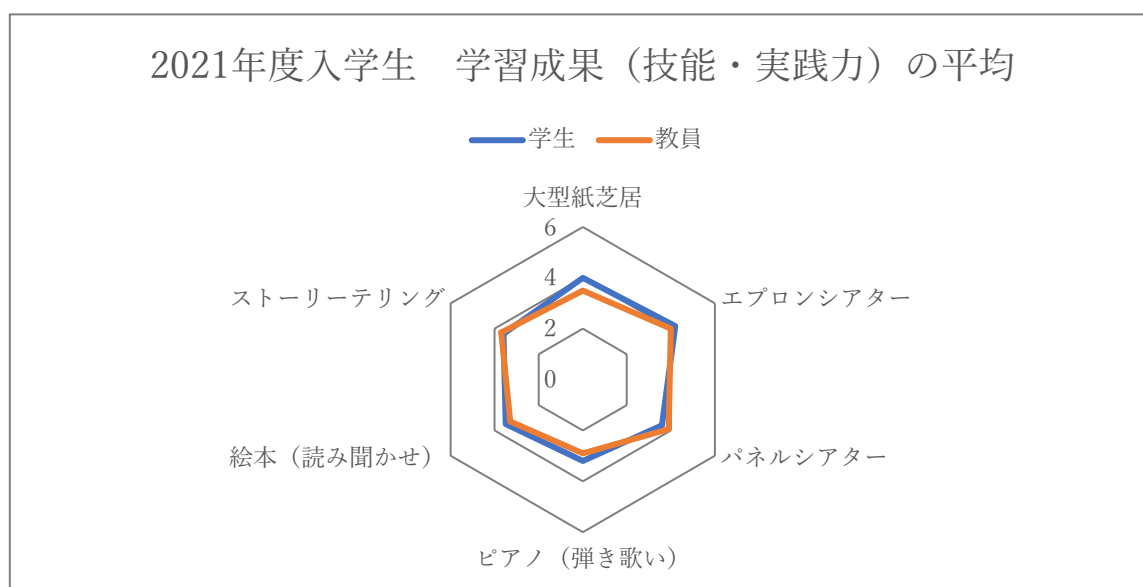
2022 年 帝京学園短期大学保育科

1. 概要

本学では学習成果の検証にあたって、ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）、知識、技能・実践力を3つの柱に据えており、それぞれについてルーブリック評価表を用いることで評価することとしている。ジェネリック・スキル（態度・社会人基礎力）については学生へのアンケート及び教員による個別評価、知識については授業の成績である GP 等、技能・実践力については各種実習の評価等をもって測定することとしている。

本紙では技能・実践力について 2021 年度入学生の結果を公表する。

2. 結果



評価対象	ポートフォリオ(6つ選択)	評価者	
		学生	教員
専門性/技能・実践力	大型紙芝居	4	3.5
	エプロンシアター	4.2	4
	パネルシアター	3.6	3.9
	ピアノ(弾き歌い)	3.2	2.9
	絵本(読み聞かせ)	3.5	3.3
	ストーリーテリング	3.6	3.7
	ボランティア活動・選択科目		

3. 結果に基づいた分析

(1) 学生評価よりも教員評価が高いもの

パネルシアター、ストーリーテリングについては、学生評価よりも教員評価が高い結果となった。

特に、パネルシアターは保育実習Ⅱ（保育所）及び保育実習Ⅲ（児童館）に向けた課題として、2 年次春休みの課題として製作し、2 年次前期に発表している。1 年次の保育実習Ⅰ（保育所）により学生自身が保育現場での実践を経験したこと、発表時期が教育実習の直前であることなどにより、学生自身の自己評価が低くなったことが考えられる。それに対して、様々な経験を積んだことにより学生の保育技術は向上しており、教員の評価はやや高くなっている。

(2) 学生評価よりも教員評価が低いもの

大型紙芝居、エプロンシアター、ピアノ（弾き歌い）、絵本（読み聞かせ）については、学生評価よりも教員評価が低い結果となった。

これらは、1 年次の授業等で作成や発表を行う。保育現場での実習等を経験していない学生たちが、それぞれに対して工夫し、懸命に取り組んだ結果として自己評価がやや高くなったものと思われる。学生評価と教員評価の乖離について、学生自身が考え、実習等により保育現場を経験することで自己評価と客観評価の乖離を少なくしていくよう指導を重ねている。その結果として（1）のようにパネルシアターにおいては、学生評価がやや低いという結果につながっているとも考えられる。

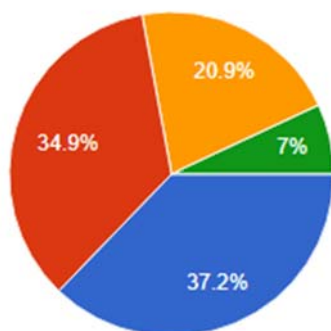
2020 年度入学生 保育実習Ⅰ（保育所） 自己評価・実習先評価の比較

2022 年 帝京学園短期大学保育科

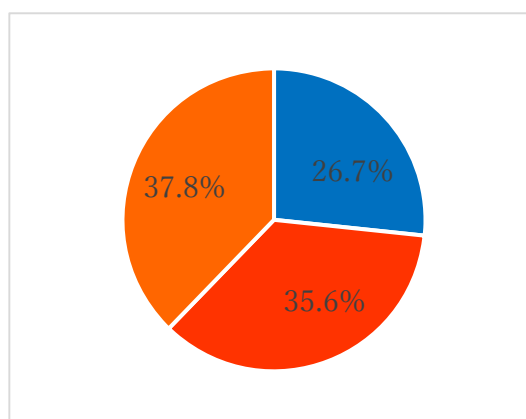
1. 結 果

(1) 笑顔・明るさはあったか

施設からの評価



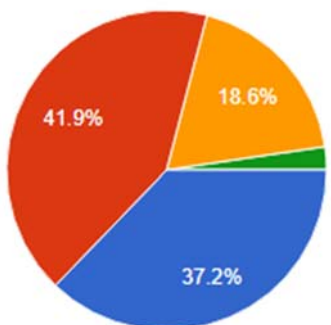
学生アンケート結果



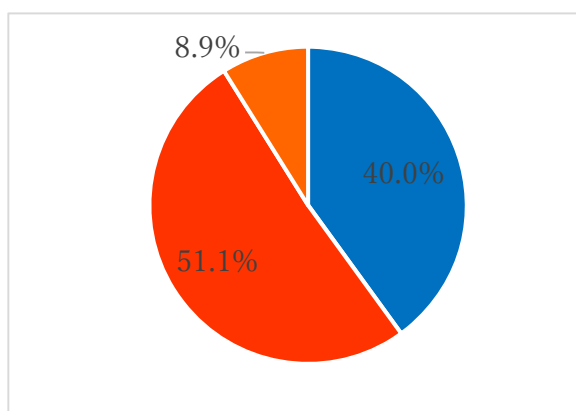
● 大変優れている
● 優れている
● 認められる
● 努力を要する
● かなりの努力を要する

(2) 実習指導者の指導を素直に聞くことができたか

施設からの評価



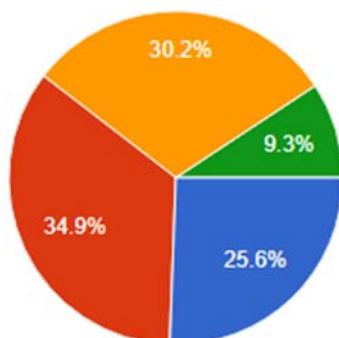
学生アンケート結果



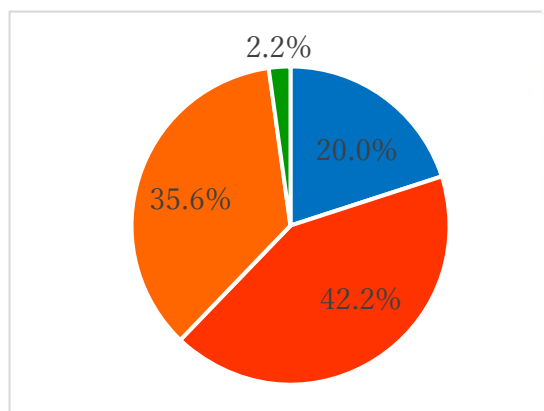
● 大変優れている
● 優れている
● 認められる
● 努力を要する
● かなりの努力を要する

(3) 責任感をもって実習に取り組んだか

施設からの評価



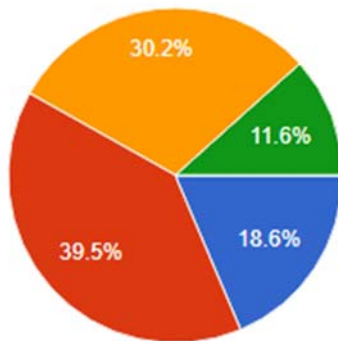
学生アンケート結果



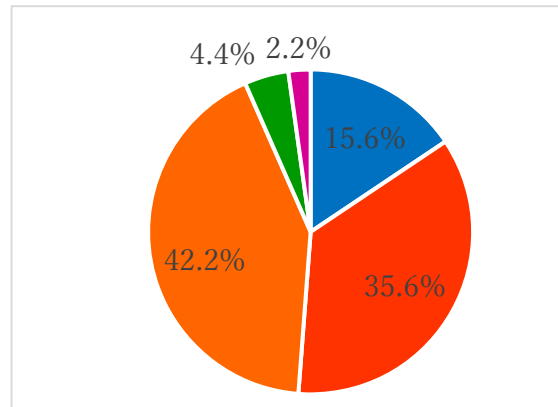
● 大変優れている
● 優れている
● 認められる
● 努力を要する
● かなりの努力を要する

(4) 必要な報告・連絡・相談はできたか

施設からの評価



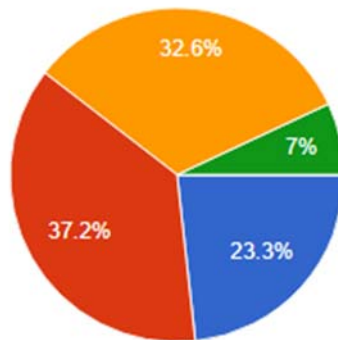
学生アンケート結果



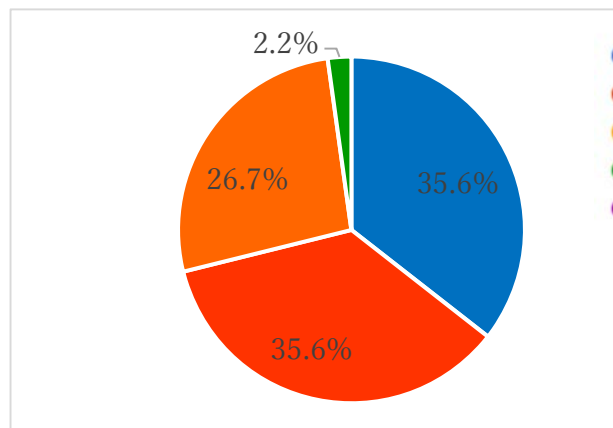
- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(5) 実習生として礼儀をわきまえ、ふさわしい服装・見出しなみであったか

施設からの評価



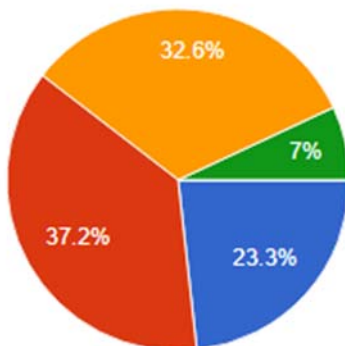
学生アンケート結果



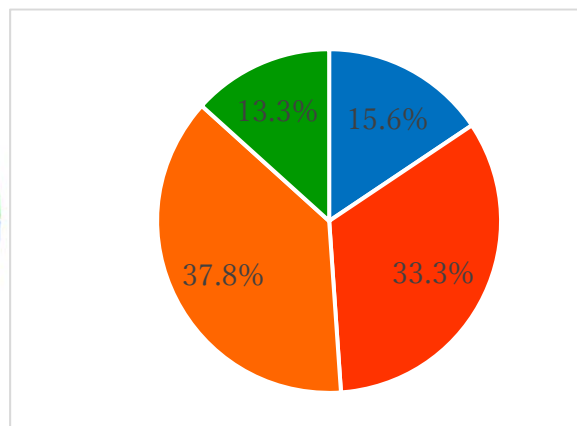
- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか

施設からの評価

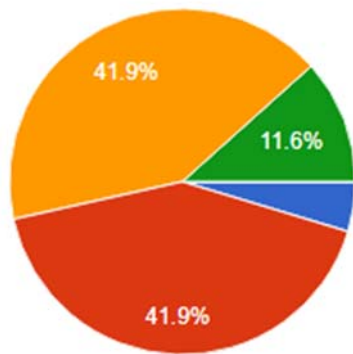


学生アンケート結果

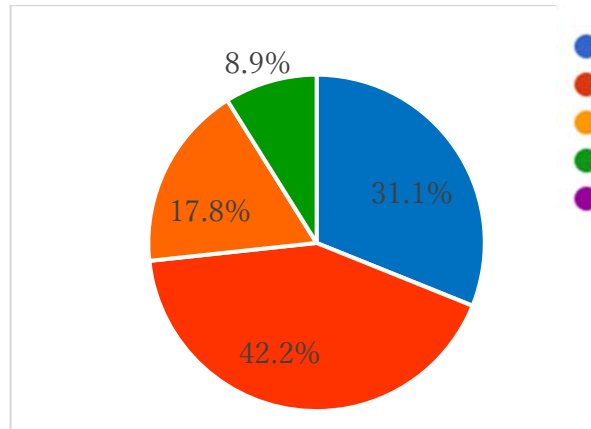


- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(7) 施設の根拠法令や施設の方針・特色を理解して実習に取り組んだか
施設からの評価

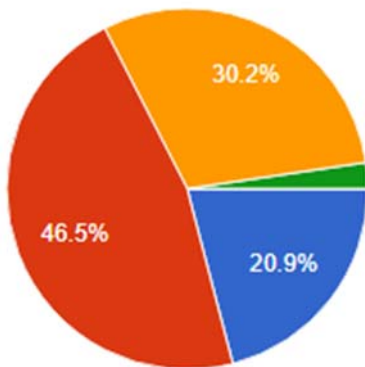


学生アンケート結果

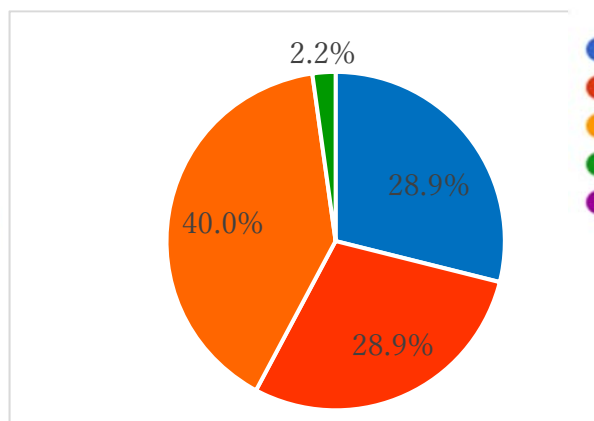


- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(8) 施設での一日の流れを理解したか
施設からの評価

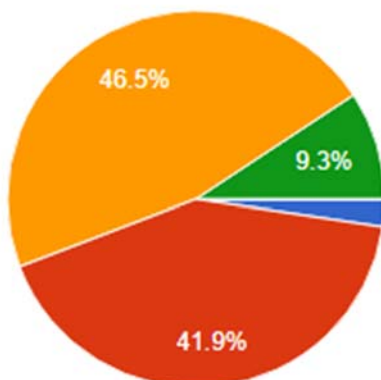


学生アンケート結果

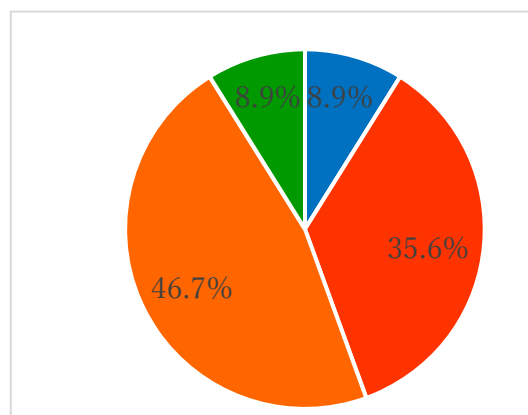


- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(9) 子どもや施設利用者の姿を理解して対応できたか
施設からの評価



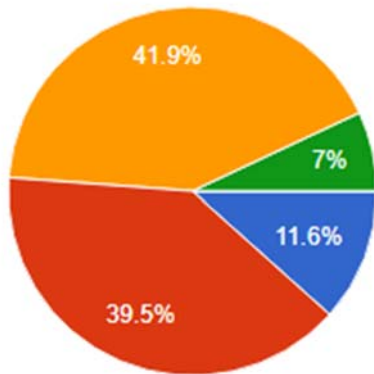
学生アンケート結果



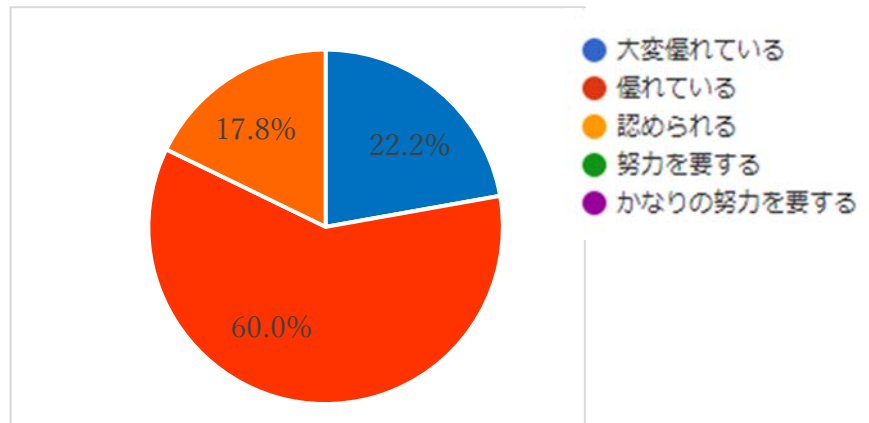
- 大変優れている
- 優れている
- 認められる
- 努力を要する
- かなりの努力を要する

(10) 子どもや施設利用者の健康・安全に配慮したか

施設からの評価

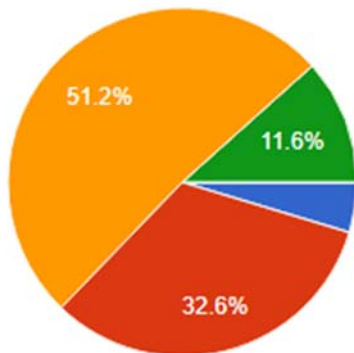


学生アンケート結果

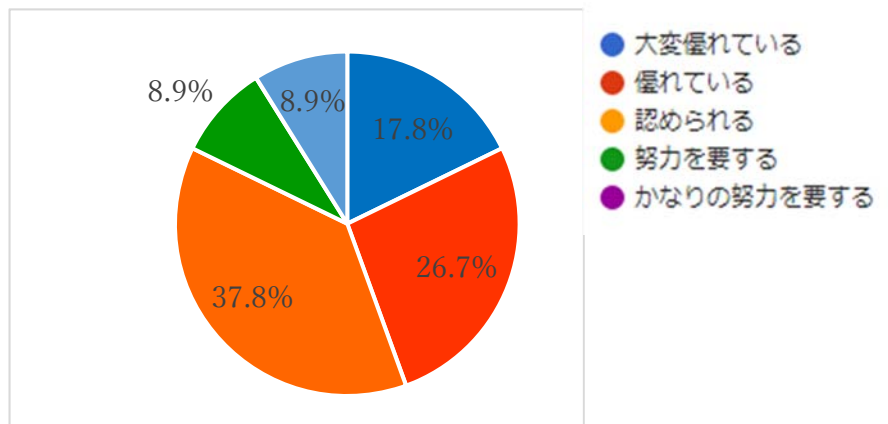


(11) 施設の活動内容を理解し、積極的な姿勢で援助・支援を学んだか

施設からの評価

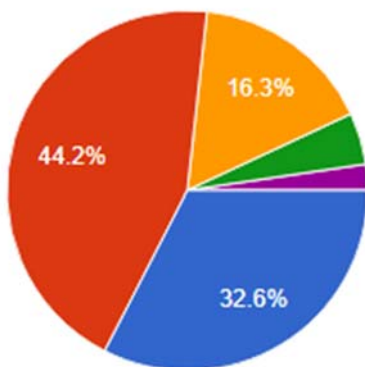


学生アンケート結果

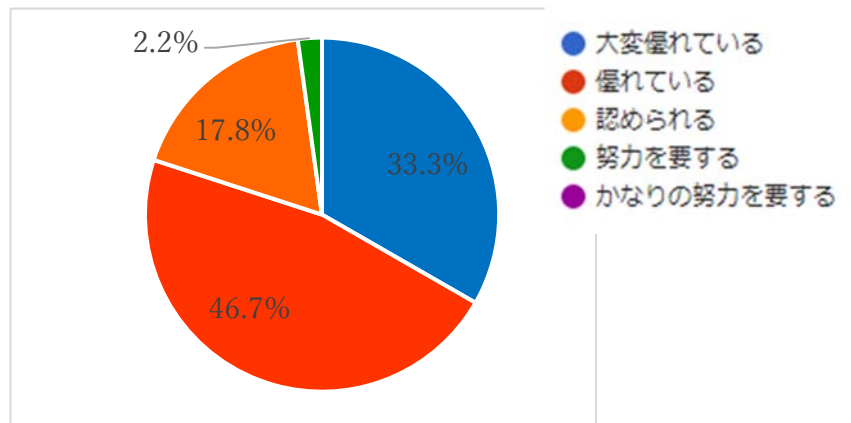


(12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか

施設からの評価



学生アンケート結果



3. 結果の分析【自己評価と実習先評価との比較検討及び実習先からの評価から見えてきた課題】

(1) 全 体

どの項目も実習先からの評価と自己評価との大きな乖離は見られない。全体的に実習先からは、良い評価をもらっているので、事前指導では特に問題になることはない。

(2) 項目別

少しの乖離が見られる項目についてみる。

<笑顔・明るさ>

全体的に実習先からは、“実習生として認められる”以上の評価が93.0%と良い評価をされているので、特に問題となることはないが、自己評価では“あまりできなかった”と評価する学生はいないが、実習先からは“努力を要する”と評価された学生がいる。

⇒4月入学当初から笑顔・明るさの必要性は指導し続けているが、日常生活の中でも気が付いた時に、声をかけて指導していくようにする。

<子どもの健康・安全に配慮したか>

実習先からは、“実習生として認められる”以上の評価が93.0%以上であるため、特に問題となることはない。しかし自己評価では“あまりできなかった”と評価する学生はいないが、実習先からは“努力を要する”と評価された学生がいる。また自己評価では“優れている”と大変優れていると評価している学生が8割以上いるが、実習先からは、5割位である。

⇒学内での指導で、保育は子どもの健康や安全の上に成り立つので、子どもの健康・安全には特に気を付けるよう伝えている。そのため学生の意識の中では、子どもの健康と安全に留意しているつもりであるが、実習先では、初めての実習ということもあり、周囲の状況判断が必ずしもできていないと考えられる。今後の実習で、広い視野をもち、周囲の状況を判断できるような力をつけていくよう、他の実習担当と連携していく。

<保育技術を積極的に披露したか>

保育技術では、色々な授業で発表を取り入れ、子どもの前で披露させていただくよう指導している。実習先からの評価では、“かなりの努力を要する”がなく、“努力を要する”が11.6%である。ほとんどの学生が積極的に披露してきている。しかし、自己評価では、“まったくできなかった”と“あまりできなかった”とを合わせて17.8%とわずかであるができないと評価している。

⇒消極的な学生もいるため、自信をもって臨めるよう技術のみならず準備の段階から指導を強化していく。

<実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか>

全体的に実習先からは、“実習生として認められる”以上の評価が93.1%と良い評価をされているので、特に問題となることはない。しかし自己評価では“あまりできなかった”と評価する学生はいないが、実習先からは“努力を要する”と評価された学生がいる。

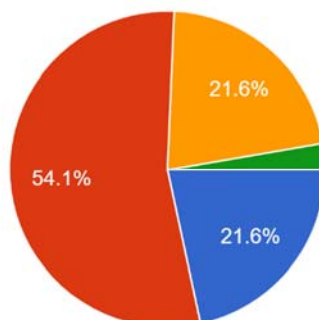
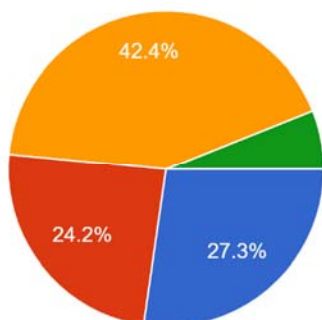
⇒社会人として提出期限を守ることは当たり前のことである。このため学内全体で、提出物の期限厳守については、指導強化を続けていく。また日誌の記述に関しても、以前より学内の教員と連携しながら、文章を書くことに力を入れているが、読書や課題等で文章を読むこと、書くことを日頃から取り入れていく。

1. 結 果

（１）笑顔・明るさはあったか

施設からの評価

学生アンケート結果

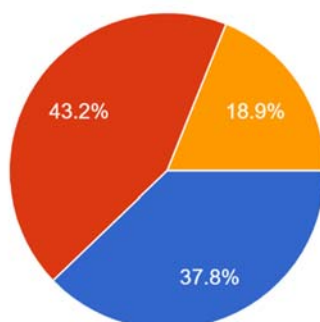
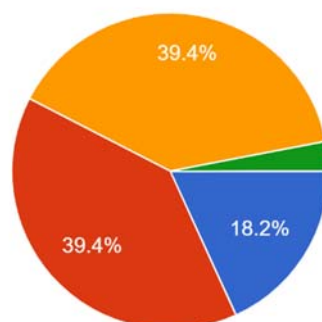


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

（２）実習指導者の指導を素直に聞くことができたか

施設からの評価

学生アンケート結果

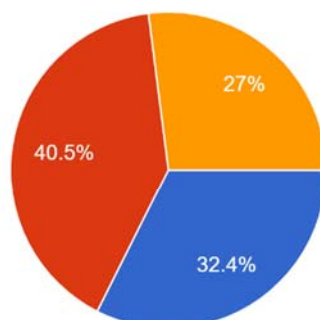
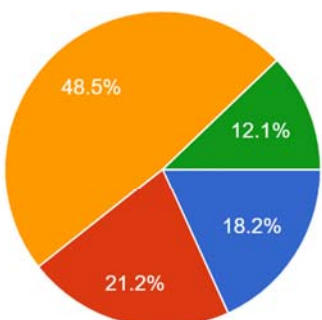


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

（３）責任感をもって実習に取り組んだか

施設からの評価

学生アンケート結果

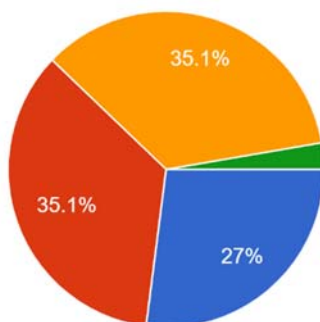
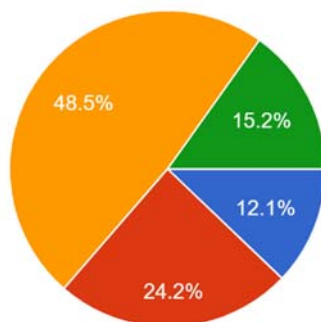


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(4) 必要な報告・連絡・相談はできたか

施設からの評価

学生アンケート結果

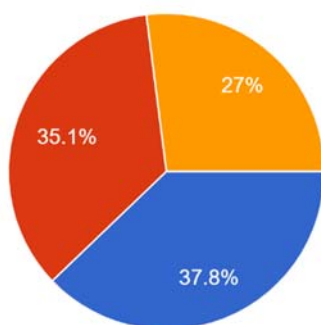
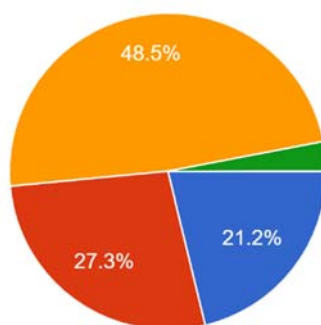


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(5) 実習生として礼儀をわきまえ、ふさわしい服装・見出しなみであったか

施設からの評価

学生アンケート結果

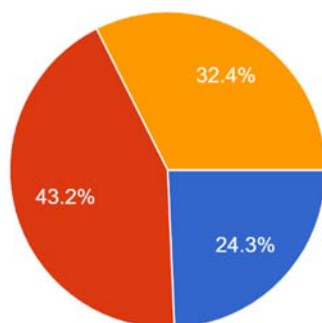
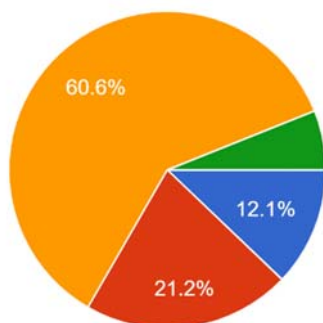


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか

施設からの評価

学生アンケート結果

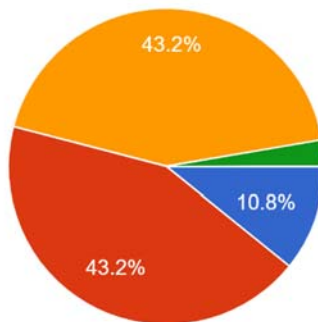
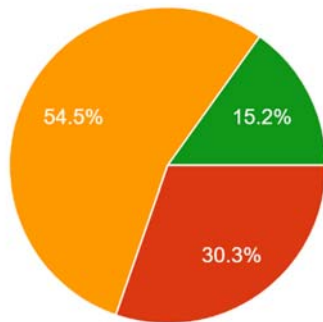


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(7) 施設の根拠法令や施設の方針・特色を理解して実習に取り組んだか

施設からの評価

学生アンケート結果

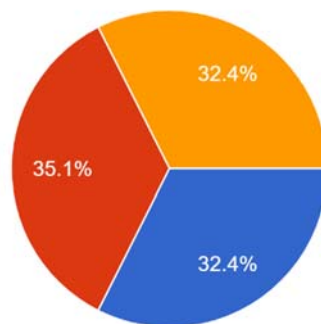
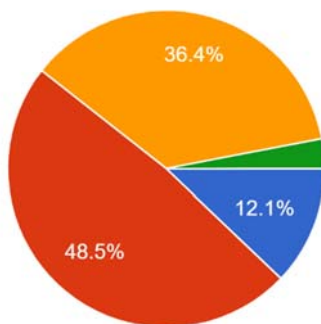


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(8) 施設での一日の流れを理解したか

施設からの評価

学生アンケート結果

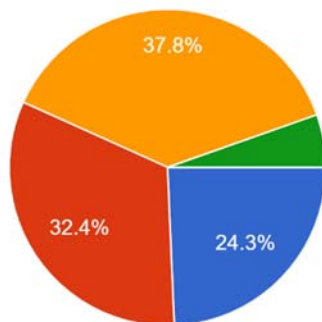
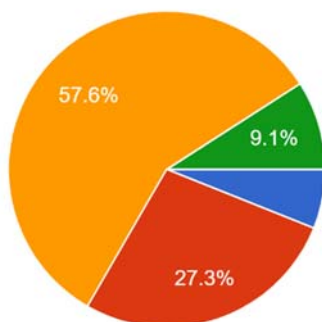


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(9) 子どもや施設利用者の姿を理解して対応できたか

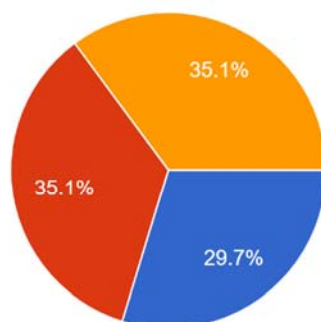
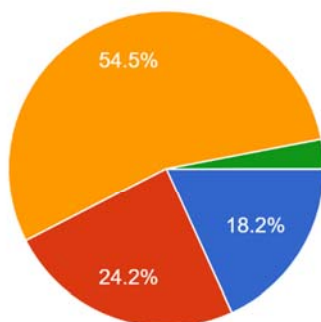
施設からの評価

学生アンケート結果



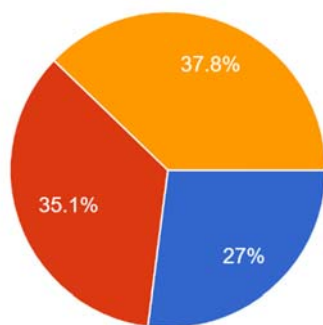
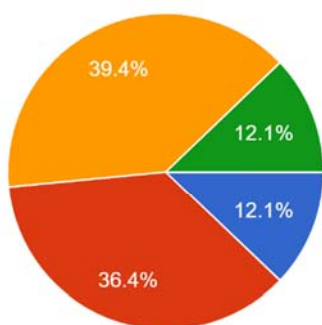
- 大変優れていた1
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(10) 子どもや施設利用者の健康・安全に配慮したか
施設からの評価 学生アンケート結果



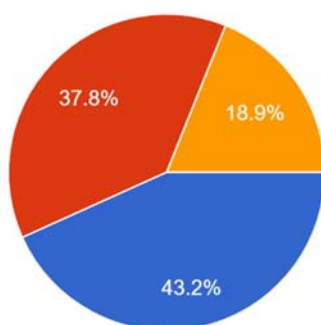
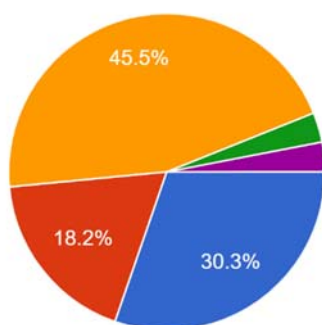
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(11) 施設の活動内容を理解し、積極的な姿勢で援助・支援を学んだか
施設からの評価 学生アンケート結果



- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか
施設からの評価 学生アンケート結果



- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

2. 結果の分析

(1) 全 体

- ①多くの項目において実習先施設からの評価に比して学生による自己評価が高く、「大変優れていた」「優れていた」の割合が大きい。また、学生による自己評価のうち8項目で「あまりできていなかった」及び「全くできていなかった」を選択した学生が0であった一方、施設からの評価ではそれらの意見が選択されていた。実習先施設の求める「実習生として普通である」姿と学生側のその姿に乖離があると思われる。

(2) 項目別

実習先施設からの評価と学生による自己評価で「大変優れていた」及び「優れていた」の評価が特に大きく乖離していた「(3) 責任感を持って実習に取り組んだか」、「(6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか」、「(12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか」について記述する。

① (3) 責任感を持って実習に取り組んだか

学生による自己評価では、「大変優れていた」、「優れていた」、「普通であった」が全ての回答であり、いずれもポジティブな評価であった。一方、実習先施設からは「普通であった」の回答が約半数を占め、さらには「あまりできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

学生は、実習に向けた心構えや実習時に求められる社会人としての基礎的なマナーについて、事前指導を通して学習し実習に挑んでいるが、実習先ではそれ以上の責任感あるいはそれとは異なる責任感を期待していることが考えられる。大学としてこの要因を把握するためにも、次年度の保育実習連絡協議会や実習中の巡回指導時を活用して実習先施設と協議し、実習先施設が求める「実習生としての責任感」を把握した事前指導を行いたいと考える。

② (6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか

学生による自己評価では、「大変優れていた」、「優れていた」、「普通であった」が全ての回答であり、いずれもポジティブな評価であった。一方、実習先施設からは「普通であった」の回答が6割を占め、一部には「あまりできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

実習の事前指導では、前述した指導の他、実習先施設の施設種別についての基礎知識、実習先施設についての情報収集、実習目標の設定を中心とした指導を行っている。そこでは、「常に学ぼうとする姿勢」といった実習生としての態度、ジェネリック・スキルについても指導内容に取り入れているが、実習先施設ではさらに高く期待していることが考えられる。ジェネリック・スキルについては大学の学習成果として実習の事前指導に限らず大学生活全体を通じて指導を行っている。実習先施設からも大きく期待されていることを受け、今後より重点を置いて事前指導を行いたいと考える。

③ (12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか

学生による自己評価では、「大変優れていた」、「優れていた」、「普通であった」が全ての回答であ

り、いずれもポジティブな評価であった。一方、実習先施設からは「普通であった」の回答が約半数を占め、一部には「あまりできていなかった」「全くできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

実習日誌の記載方法や文章力については、以前より課題として認識しており、保育実習指導Ⅰ（施設）だけではなく、1年生前期から開始する保育実習指導Ⅰ（保育所）から指導を行っている。近年では文章力についての課題も大きく改善傾向にあるが、依然として一部の学生は文章に対して苦手意識を持っている状況である。学生の自己評価と実習先施設の評価とが乖離していることを重く受け止め、文章作成に対して苦手意識のある学生への個別指導を重視していきたいと考える。

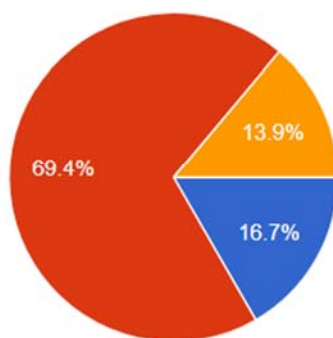
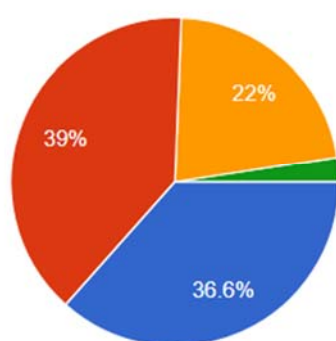
また、実習日誌の提出期限の厳守についても課題が潜在している可能性も考えられることから、これについてはジェネリック・スキル指導も含めて学内指導を重視していきたいと考える。

1. 結 果

（１）笑顔・明るさはあるか

施設からの評価

学生アンケート結果

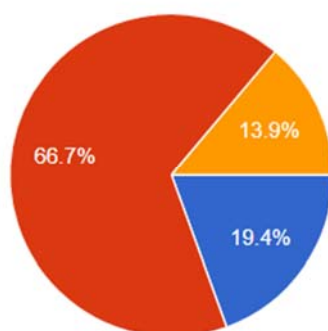
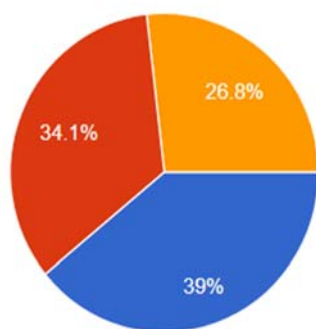


● 大変優れていた
● 優れていた
● 普通であった
● あまりできていなかった
● 全くできていなかった

（２）実習指導者の指導をよく聞いたか

施設からの評価

学生アンケート結果

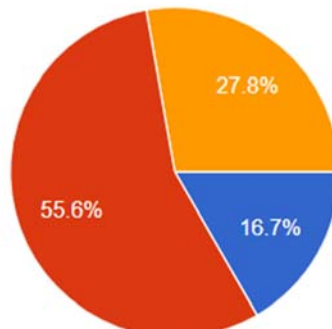
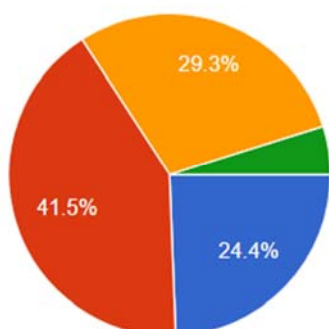


● 大変優れていた
● 優れていた
● 普通であった
● あまりできていなかった
● 全くできていなかった

（３）責任感をもって実習に取り組んだか

施設からの評価

学生アンケート結果

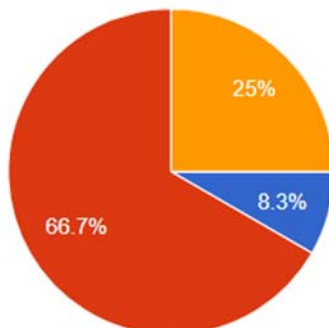
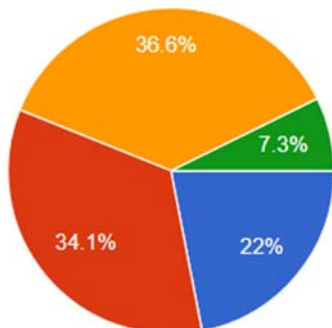


● 大変優れていた
● 優れていた
● 普通であった
● あまりできていなかった
● 全くできていなかった

(4) 必要な報告・連絡・相談はできたか

施設からの評価

学生アンケート結果

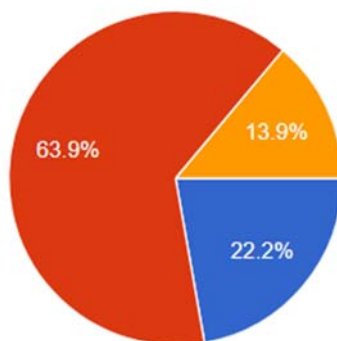
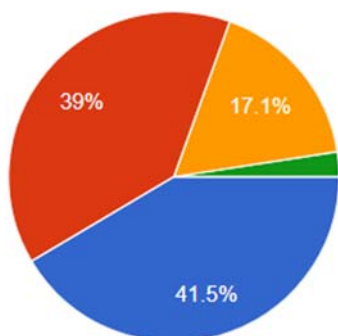


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(5) 実習生として礼儀をわきまえ、ふさわしい服装・見だしなみであったか

施設からの評価

学生アンケート結果

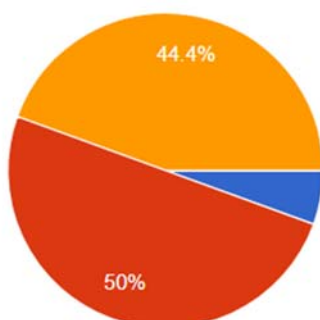
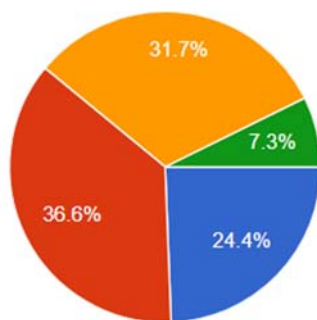


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか

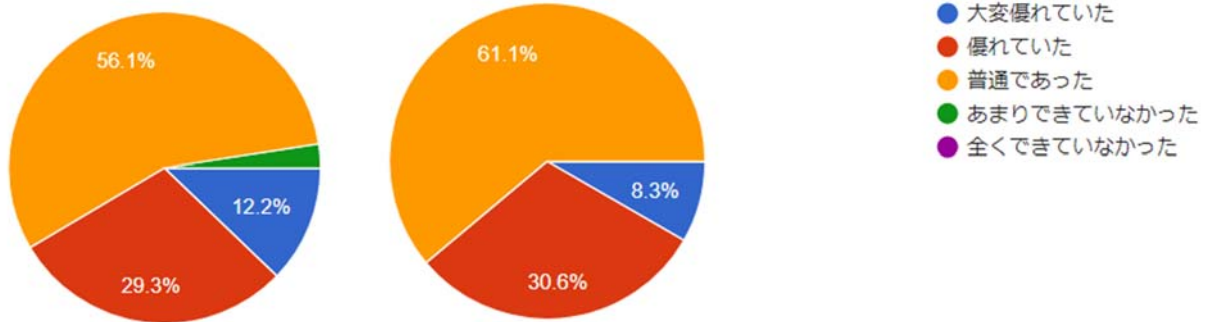
施設からの評価

学生アンケート結果

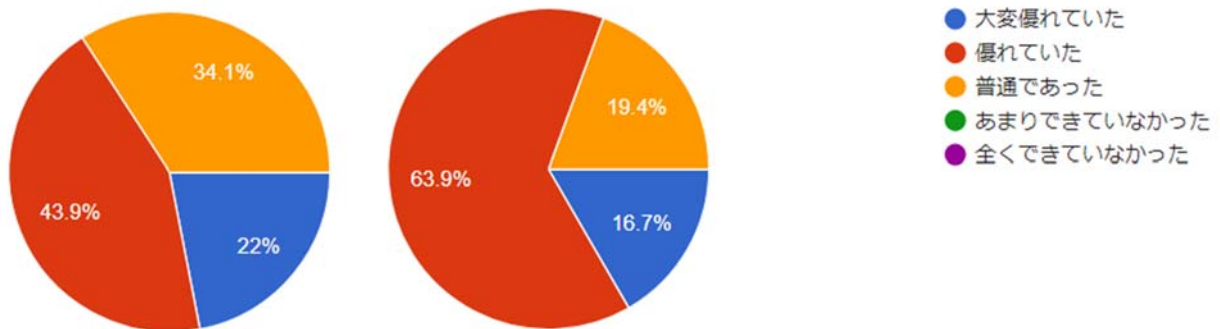


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

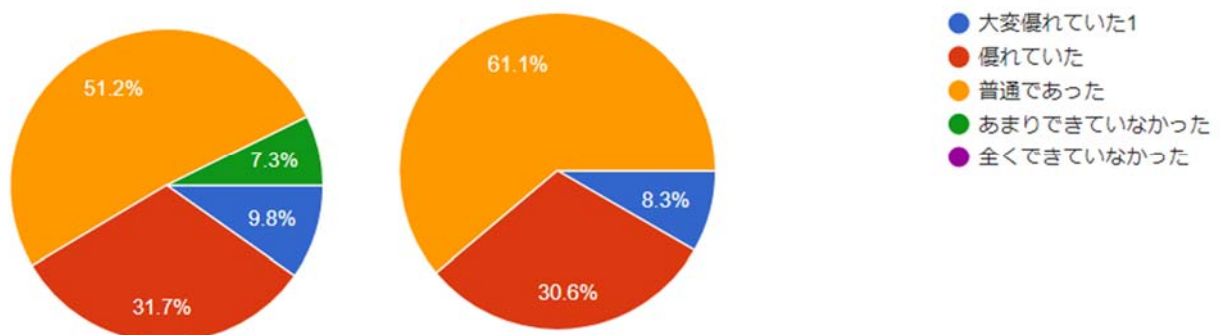
(7) 保育所保育指針や施設の方針・特色を理解して実習に取り組んだか
施設からの評価 学生アンケート結果



(8) 施設での一日の流れを理解したか
施設からの評価 学生アンケート結果



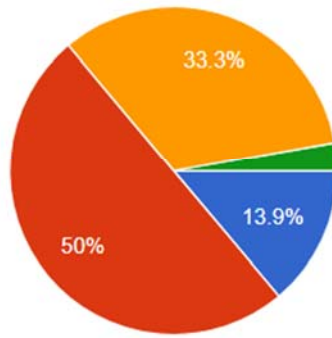
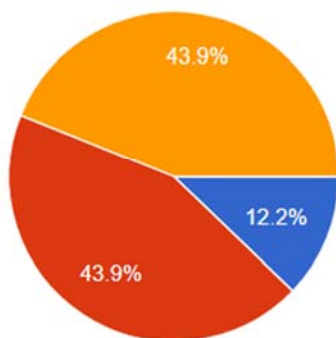
(9) 子どもの発達段階を理解して子どもに対応できたか
施設からの評価 学生アンケート結果



(10) 子どもの健康・安全に配慮したか

施設からの評価

学生アンケート結果

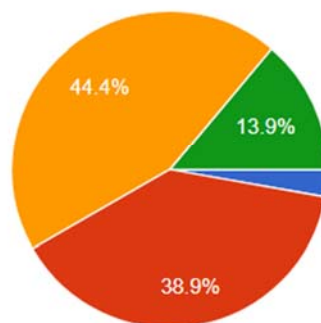
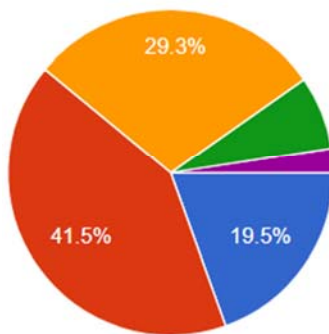


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(11) 保育技術(手遊び、読み聞かせ、ピアノ等)を積極的に披露したか

施設からの評価

学生アンケート結果

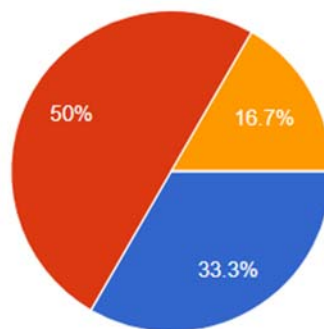
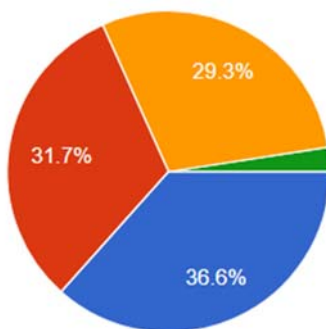


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか

施設からの評価

学生アンケート結果

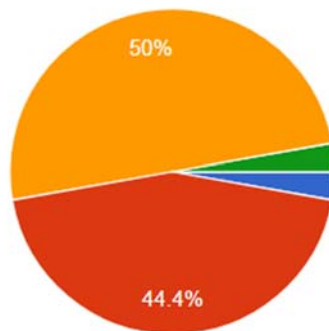
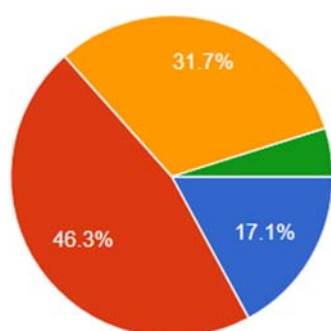


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(13) 作成した指導計画に基づく保育実践ができ、工夫し対処できたか

施設からの評価

学生アンケート結果

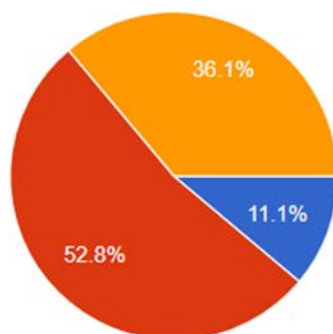
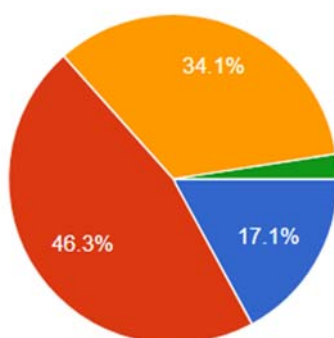


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(14) 指導計画の立案から実践までを振り返り、改善点や課題を考えることができたか

施設からの評価

学生アンケート結果



- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

3. 結果の分析

(1)全体

- ①多くの学生が、日誌の記録や指導案の立案に不安を抱えていたようであるが、実習先からの評価としては悪くなかった。自分の課題点ということで危機意識を抱えているが、実際はその苦手意識を克服しようということで、学内での事前準備に熱心に取り組んだことがこのような結果につながったのではないかと考える。
- ②実習先から評価されている点として、表情・笑顔、積極性・意欲・熱意のコメントが多く見られた。
- ③責任実習当日の活動について、特に子どもへの関わり方については実習先から評価された学生が多くいた。

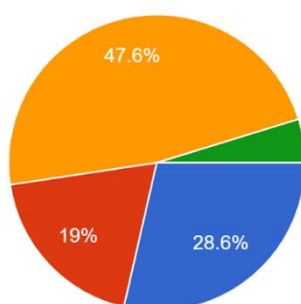
(2)項目別

- ①(4)「必要な報告・連絡・相談ができたか」は、保育所の評価と学生の回答に乖離が見られた。学生は意識的に報告・連絡・相談に取り組んだつもりであったようだが、実習先からは「努力を要する」との回答も多く寄せられた。社会人として求められる姿勢に対する学生の認識の甘さが見られた。就職を見据えた学内指導を改めて徹底していきたい。
- ②(8)「施設での一日の流れを理解したか」について、「大変理解した」「理解した」との回答は学生が81%であったが、実習先からの回答は65%にとどまった。一日の流れとは単に一日の時程プログラムではなく、様々な要素や保育所の意図や配慮も含まれていることを丁寧に指導する必要性を感じた。
- ③(11)「保育技術(手遊び、読み聞かせ、ピアノ等)を積極的に披露したか」に関しては、学生の回答より実習先からの回答の方がよい評価であった。披露の出来栄えというより、積極的な披露の機会を、実習に対する意欲と捉えていただけた結果ではないかと考える。今後は、披露の機会に加えて保育技術の質の向上にも努めたい。

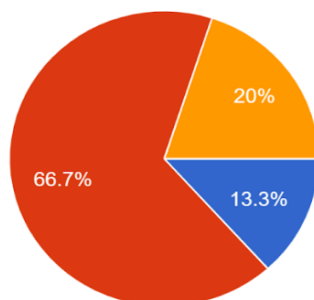
1. 結 果

(1) 笑顔・明るさはあるか

幼稚園からの評価



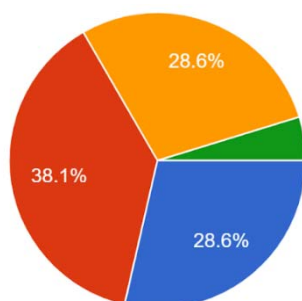
学生アンケート結果



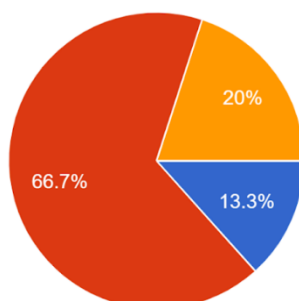
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(2) 実習指導者の指導を素直に聞くことができたか

幼稚園からの評価



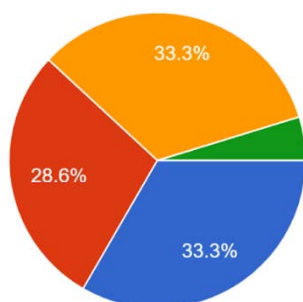
学生アンケート結果



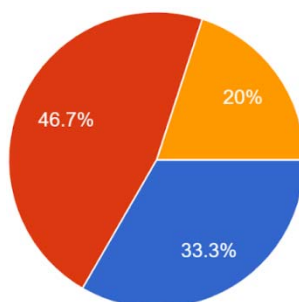
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(3) 責任感をもって実習に取り組んだか

幼稚園からの評価



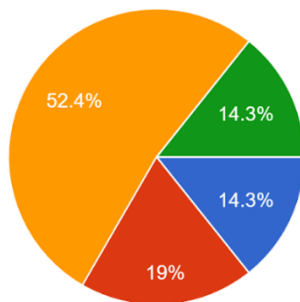
学生アンケート結果



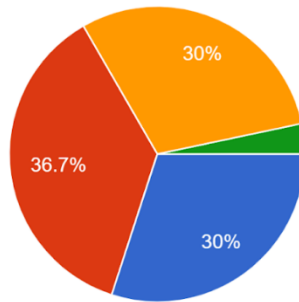
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(4) 必要な報告・連絡・相談はできたか

幼稚園からの評価



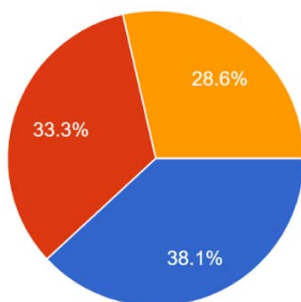
学生アンケート結果



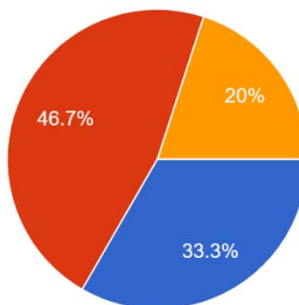
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(5) 実習生として礼儀をわきまえ、ふさわしい服装・見出しなみであったか

幼稚園からの評価



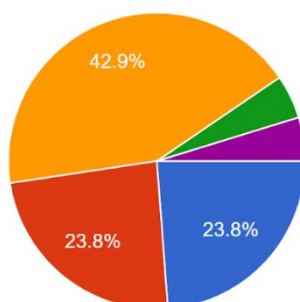
学生アンケート結果



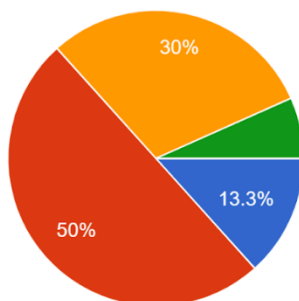
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(6) 事前準備を怠らず、常に学ぼうとする姿勢はあったか

幼稚園からの評価



学生アンケート結果

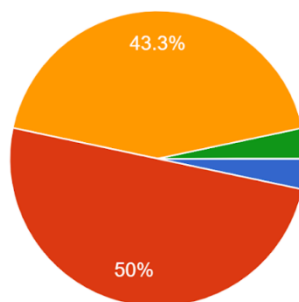
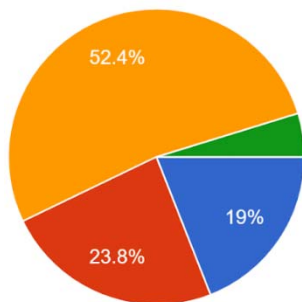


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(7) 幼稚園教育要領や実習園の方針・特色を理解して実習に取り組んだか

幼稚園からの評価

学生アンケート結果

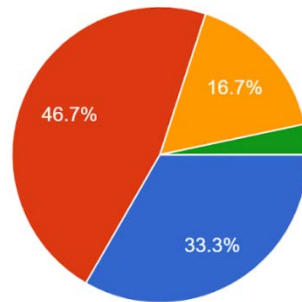
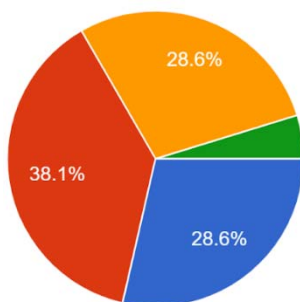


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(8) 幼稚園での一日の流れを理解したか

幼稚園からの評価

学生アンケート結果

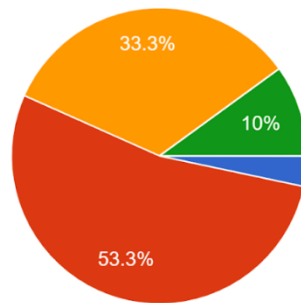
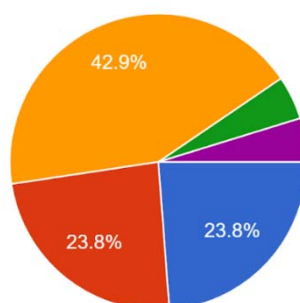


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(9) 子どもの発達段階を理解して子どもに対応できたか

幼稚園からの評価

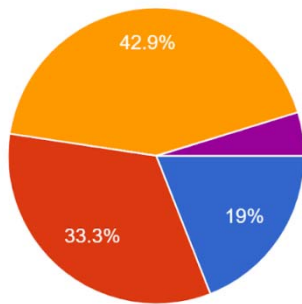
学生アンケート結果



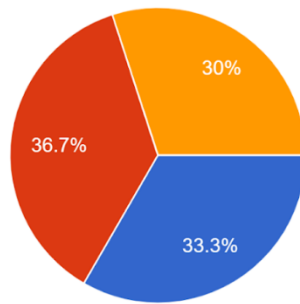
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(10) 子どもの健康・安全に配慮したか

幼稚園からの評価



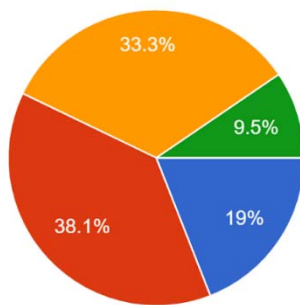
学生アンケート結果



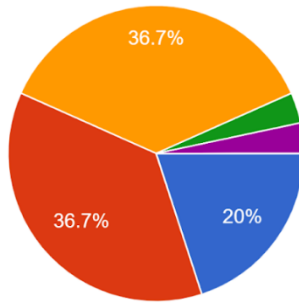
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(11) 保育技術（手遊び、読み聞かせ、ピアノ等）を積極的に披露したか

幼稚園からの評価



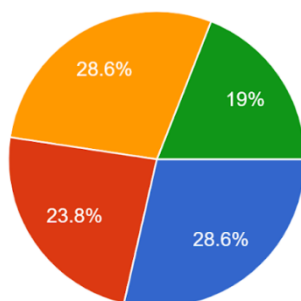
学生アンケート結果



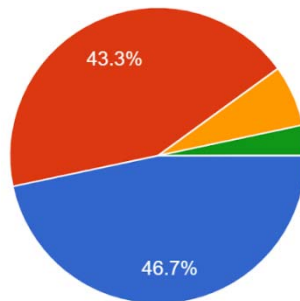
- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(12) 実習日誌を適切に記述し、期限を守って提出できたか

幼稚園からの評価



学生アンケート結果

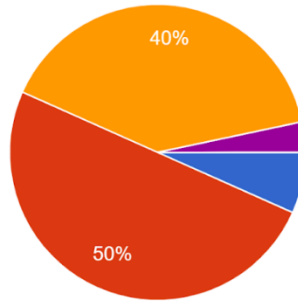
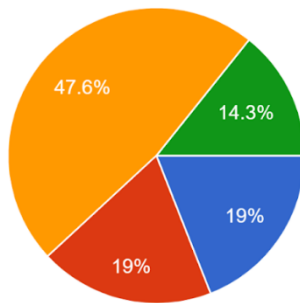


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(14) 作成した指導計画に基づく保育実践ができ、工夫し対処できたか

幼稚園からの評価

学生アンケート結果

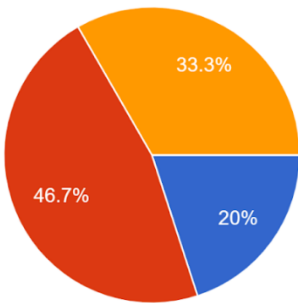
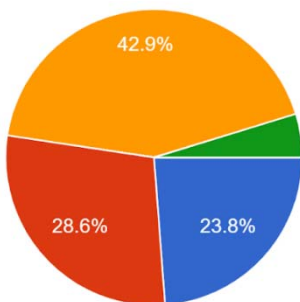


- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

(15) 指導計画の立案から実践までを振り返り、改善点や課題を考えることができたか

幼稚園からの評価

学生アンケート結果



- 大変優れていた
- 優れていた
- 普通であった
- あまりできていなかった
- 全くできていなかった

2. 結果の分析

(1) 全 体

多くの項目において実習先幼稚園からの評価に比して学生による自己評価が高く、「大変優れていた」「優れていた」の割合が大きい。一方で、学生による自己評価では多くの項目で「優れていた」と評価しており、項目全体を通じて「大変優れていた」の評価が幼稚園からの評価に比して少ない。

(2) 項目別

実習先幼稚園からの評価と学生による自己評価で「大変優れていた」及び「優れていた」の評価が特に大きく乖離していた「(7) 幼稚園教育要領や実習園の方針・特色を理解して実習に取り組んだか」、「(9) 子どもの発達段階を理解して子どもに対応できたか」、「(14) 作成した指導計画に基づく保育実践ができ、工夫し対処できたか」について記述する。

① (7) 幼稚園教育要領や実習園の方針・特色を理解して実習に取り組んだか

学生による自己評価では、「大変優れていた」、「優れていた」、「普通であった」がおおよそ割合を占めており、ポジティブな評価であった。一方、実習先幼稚園からは「普通であった」の回答が約半数を占め、さらには「あまりできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

学生は、実習に向けた事前指導を通して実習園の教育方針や教育上の特色について調べ学習に取り組んでいる。また、幼稚園教育要領については「教育課程・保育の計画と評価」や「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を通じて学習している。しかし、実習先では直接的に幼稚園教育要領や実習園の教育方針や特色と照らし合わせて活動することができていないと考えられる。大学としてこの要因を把握し、実習生がより冷静に落ち着いて実習園での見学・観察実習に取り組めるよう事前指導内容を検討したいと考える。

② (9) 子どもの発達段階を理解して子どもに対応できたか

学生による自己評価では、「優れていた」、「普通であった」が回答の約8割を占めていた。一方で、実習先幼稚園からは「普通であった」の回答が4割を占め、一部には「あまりできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

子どもの発達段階については、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」において1年次前期より学習している。また、実習事前指導においても子どもの発達段階を理解するためにも「見学・観察実習」が重要であり、実習生から積極的に子どもに関わることで実際の保育現場での子どもの姿を捉えるよう指導している。学生は実習場面で初めて理論と実際とを比較しながら子どもの発達の姿を理解していくが、その機会は教育実習を除くと保育実習Ⅰ(保育所)の経験のみであり、実際の子どものと触れ合う経験には限度があると考え。実習先幼稚園からも大きく期待されている実践知であることを受け止め、今後より重点を置いて事前指導を行いたいと考える。

③ (14) 作成した指導計画に基づく保育実践ができ、工夫し対処できたか

学生による自己評価では、「大変優れていた」、「優れていた」、「普通であった」が回答の9割を超

えていた。一方、実習先幼稚園からは「普通であった」の回答が約半数を占め、一部には「あまりできていなかった」との回答もあり、学生の回答と比してより冷静な評価であった。

指導計画の作成については、実習事前指導の他、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」においても取り扱い、教育実習に向けた指導として重要視している。以前より、指導計画の作成、実践力については課題として認識しており、学内指導の充実を図っている。実際の保育経験の無い学生にとって、指導計画の作成は一段と大きな課題であろうことも想像に易く、学内での指導の必要性を認識しており、学内での指導場面では一律的な指導内容だけでなく学生個々の課題を個別に指導することで一層の充実を図っている。保育実践の中での「工夫」を含め、実習先幼稚園からも大きく期待されていることを受け止め、今後より重点を置いて事前指導を行いたいと考える。